京城日報

九日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵稅一ヶ月金十五錢 郵送に限り前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行同上▲三號活字十二字詰壹行金四圓▲四號活字廿一字詰金七拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用二六番

米國の開戰準備

米國政府は最初の開戰準備として戰費六十八億圓を請求せり又陸軍を五十萬人に增員し更に必要に應じ五十萬人の增加を爲さん計畫ありと(紐育電報)

米國債五十億圓募集

華盛頓電ー大藏大臣マカヅノ氏は民主黨の諸領袖と會商したり傳ふる所に依れば聯合國政府の爲めに至急公債を發行するの法案を議會に提出する事に決定したる由尙其金額は未定なれども多分五十億前後ならん尙此募集額は聯合國に貸付け其利率は米國の公債利子と同率なりと云へば米國政府は此貸付にても自ら少しの利益を取らざる譯なり(紐育電報)

米國宣戰と協商國

米國の對獨宣戰布告に對し協商國側の態度猶不明なるも米國は單獨不講和同盟に加入し聯合國と一致の步調を取る事となるべしと觀測さる(東京電報)

抑留獨艦爆沈を企つ

華盛頓來電ーグワム島に抑留されたる獨逸コルモラン號は引渡を拒絕し其乘組員は之を爆發せり之が爲め獨逸士官二名乘組員五名即死し士官二十名下士十二名卒三百廿一名捕虜となれり(紐育電報)

玖馬宣戰布告

玖馬政府は下院に於ける決議案可決に基き獨逸に對し宣戰布告をなしたり(路透電報)

伯國對獨斷交確實

伯剌西爾國內上下の獨逸潛航艇に對する感情極度に昂奮し獨逸國との斷交確實となれり(紐育電報)

墨國に叛亂起る

墨國前陸相オブレンコ將軍は大統領カランザを捕縛し今や叛軍の先頭に立ちて全軍に號令す是れ獨逸の使嗾に依るものなりとの說あり(桑港電報)

希臘叛亂勃發說

路透來電に依れば希臘に又復叛亂勃發し事態容易ならずとの說あり(路透電報)

露軍總司令官後任

多分アレキシーフ大將か

露都來電ーグチコフ氏及び其同僚は最後の會議を爲したる後アレキシーフ大將を多分參謀總長及び大元帥として承認す可く茲に於て大將は出征軍の常置總司令官たる可し又從來大公の掌握し居たりし軍隊檢閱權はアレキシーフ大將に從屬する事となれり戰地と後方との間に頗る密接なる連絡成れり(倫敦電報)

金融界緩漫

金融界頗る緩漫にして一般銀行は利下げを決行せるも郵便貯金のみは利下げをなさずと(東京電報)

滿洲交替兵著釜

滿洲守備隊大正六年度交代兵先發隊たる北海道第二十五、二十六聯隊將校八名兵十八名は九日午前七時宮島丸にて釜山著同午後十一時發遼陽に向ふ筈なり(釜山特電)

松平東拓理事

東拓理事松平直平子九日朝さくら丸にて著釜直ちに京城へ向へり(釜山特電)

討蒙軍動かん

呼倫貝爾副都統勝福の蒙軍投入は未だ確報に接せざるも大抵事實に近き者の如し奉天省中の意見は素と北邊に蹯踞せる蒙匪軍は外蒙と深き關係を有し而して之れが背後には實に露國の勢力あるを以て其討伐意の如くならざるを常とせるも目下露國は其革命と與に著るしく親支の傾向を現はし來りたれば此機會に乘じ露政府と之れに關する交涉を遂げて討蒙上の障碍物を除去し一方には宣撫使を派し利害を說きて歸順を勸告し更に強硬不逞の輩に對して討伐軍を派遣せば恩威併行して匪害を掃蕩する事難きに非らずとなし此旨を中央政府に具申したると與に兎に角目下は匪軍の手に在る呼倫貝爾を回復し且つ匪軍の南進に備ふる爲め吳興權鎭守使の騎、砲各軍隊に索倫山より北下して海拉爾方面に出動す可き軍令を發したり又吉林省に於ては陸軍第四混成旅長兼扶農鎭守使任福元少將は蒙匪の南犯に備ふる爲め長春駐屯第一旅より騎兵統隊二營及同第二旅より山砲六門兵士二百餘名を伏龍泉方面に出動せしむる事とし來る十日長春出發の筈にて先發の督隊官壽某は駐屯地點其他準備の爲め五日既に出發せり(奉天)

張作霖排斥運動

張作霖泰然たり

昨今張督軍の奉天省長兼任を解き專任省長任命の風說起り其候補者に就きては各種の下馬評傳はり在北京の奉天省會議員其他張作霖氏排斥黨等は此際張氏の省長兼任丈けは是非解除せしめて其權力の削奪を圖らんと運動しつゝあるが之れに對し張氏は泰然として何等介意する處なく親日主義を護符として進行しつゝある我地位を動かさん事は泰山を動かすよりも難しとて排張派の無謀及び世上の風說を冷笑し居れり(奉天)

支那工夫渡佛

支那工夫百六十名は佛國官憲の募集に應じて此程佛國へ向け出發せるが彼等の待遇は左の如し(奉天)

▲佛國に赴く支那工夫は佛國工夫と同一待遇を受く可し▲支那工頭工賃は初め每日八法二十五參を支給す▲普通支那工夫每日工賃は最低五法を降らず但し宿舍、食費、醫藥費一切は總べて雇主より支給す▲契約期限は二年▲旅費の外小使費四十法家族に對し每月五十法を給與す▲死亡の時には五百法を特給す

王族令公族令の制定

岡野行政裁判所長官の車中談

九日朝入京せし行政裁判所長官法學博士岡野敬次郎法制局參事官馬場鍈一、栗原廣太氏一行を途中に迎ふ長官は曰く予の今回の渡鮮は帝室制度審查委員として

▲宮內省の命 によつたのである、恰度時期もよし、大學の講義も隙だし、それに本職の行政裁判所も最近總選擧や何かで閑散だから旁て視察したいと思つてゐた朝鮮の土を踏む事となつた、渡鮮の用向は追て制定せられねばならぬ朝鮮王族及び公族令の下準備として李王家の過去及び現在の制度を詳密に調査するにあり乃ち日韓併合當時前韓國皇帝を冊して王と爲すの詔書中「並ニ待ツニ皇族ノ禮ヲ以テシ特ニ殿下ノ敬稱ヲ用キシム世家率循ノ道ニ至リテハ朕ハ當ニ別ニ其ノ軌儀ヲ定メ李家ノ子孫ヲシテ奕葉之レニ賴リ……」とあり、其の軌儀と云ふのが朝鮮の王族令並に公族令であるが併合後既に八星霜を閱せるに拘らず色々の都合上まだ發令になつてゐない、然し其の御制定には李王家の

▲色々な制度 を廣く研究した上にも研究をせねばならぬ、然るに東京にゐて書類のみの調査では怎うも十分でない、乃でかく出張を仰せ附かつた譯だ、然し予等の今回の調査が其儘新らしい王族令公族令になるのであるか、又ドレ丈け新令に關與を有つ事になるかは無論何等關知する所でない、予等は其の囑さに留まる、予の用向きは唯右に終り世評の如く李王世子御成婚に關する下準備とか云ふのでは全然ない、それは全く世上附會の說である、予は一週間ばかりで退京し馬場氏及び栗原氏は尙ほ若干滯京するであらう、實は八日の夜入京の筈であつたが連絡船に故障を生じた爲め釜山を午前に出る急行車に乘りはぐれ

▲一日延著 の止むなきに至つた、釜山では消閑のため東萊に出掛けやうかと思つたけれど運動會が釜山鎭であつたらしく非常に混雜していたから詮ない一日をホテル樓上に暮すの外はなかつた云々尙同行の馬場參事官は統監府時代約一ヶ年朝鮮に在勤せし事ありとて當時の記憶と百般の施設漸く整備せし半島今日の現況とを比較し其の刮目偶感著しく革まりたる面目を快心げに語つてゐた

總督新義州發

西鮮地方巡視の途にある長谷川總督一行及び古海警務總長の一行は八日午後六時二十五分新義州著同地に一泊の上九日午前八時三十分義州に向ひ出發せる旨其筋に通報ありたり

救護資金管理

行旅病人救護資金管理規則は府令第二十四號を以て十日付發布の事となれり、該規則に於て其資金は朝鮮總督之を管理し資金より生ずる收入は行旅病人、行旅死亡人及び其の同伴者の救護取扱を爲す費に充つるものとす、資本の元金は消費することを許さず若し資金より生ずる收入にて剩餘を生じたるときは資金の元本に編入するを原則とするも必要あるときは次年度に繰越使用することを得ることゝなれり

辭令

六日附を以て左の通り辭令ありたり

任朝鮮總督府判事 朝鮮總督府司法官試補 根本成道
補平壤地方法院判事 十級俸下賜
任朝鮮總督府判事 朝鮮總督府司法官試補 木村四郎
補咸興地方法院支廳判事 十級俸下賜

岡野博士入京

李王家の典例調査の爲め出張仰付けられ渡鮮せる帝室制度審議會委員法學博士岡野敬次郎氏同委員兼法制局參事官馬場鍈一氏及び前宮內書記官栗原廣太氏一行は九日午前八時五十分入京大和館に投宿せり

山形少將出發期

山形少將は十二日朝南大門驛發列車にて出發し釜山に一泊翌十三日午後釜山出帆の御用船安平丸にて歸東す可し

高等警察課長動靜

七日夜入京せる新任警務總監部高等警察課長前田憲兵大佐は八日は日曜日なるに拘らず出勤前任者山形少將より事務引繼を了し九、十の兩日間官民の重なる所に著任の挨拶を爲し十日夜出發前任地に赴き後任者に事務一切の引繼を爲したる上來る二十一日頃改めて入京出勤事務を見るに至るべしと

美濃部總裁歸任

美濃部鮮銀總裁は夫人令孃同伴倉稱秘書官を隨へ九日午前八時五十分著列車にて歸京せり

京城土木上席會議

京畿道にては管內土木當局上席者を召集し九、十の兩日間構內宣化堂に於て上席者會議を開催す

京城府豫算

歲入出卅六萬九千圓

京城府本年度豫算は今般道の承認を經來る十一日午後一時より府廳樓上に於て協議員會を開く豫定なるが本年度豫算は歲入經常部三十四萬餘圓同臨時部二萬八千餘圓合計三十六萬九千餘圓歲出經常部三十二萬餘圓臨時部四萬八千餘圓合計三十六萬九千餘圓にして前年度に對比し約二萬八千圓の減少を見たり之れ前年度に於ては臨時負債に由つて事業の企畫等を爲したるに因るものにして決して本年度事業の縮少を意味するものに非ず其他內容に關しては前年度と大差なしと

關東州の土地所有權

朝鮮の新事業熱……滿洲の不動產金融問題……滿洲銀行は不必要……美濃部朝鮮銀行總裁の談

東上中なりし鮮銀總裁美濃部俊吉氏は夫人及び令孃並に秘書役倉稱子爵同伴九日の朝臨京した其の車中談によると曰く歐洲の戰亂の影響による內地財界の

▲資金の充溢 は資本家の海外投資傾向を助長せしめ、最近朝鮮に於ける事業界は漸く繁忙となつたやうである、予の滯京中新らしい滿鮮の企業に就き色々耳にしたのも三四に留まらない、かの西鮮の平壤黃州方面に根據を置かんとする甜菜精糖事業の如き諸般の企畫と準備は極めて好調に進んでゐるらしい、確か十日頃社長の藤山雷太氏が渡鮮するとの事であつたが此事業は兎に角廣大な面積に亘り甜菜の栽培を農民に行らさねばならぬと云ふ譯だから其の勸誘其の普及には少なからぬ面倒もあらうし、借て事業を開始すると云ふまでには尙多の時日を要するであらう王子製紙會社では西北鮮地方の某湖水の水を利用して水力を起しパルプの製造を企畫してゐると聞いた、パルプは樺太や北海道で最近漸く盛んに製出され未著手の工場迄操業を始むれば日本の製紙界に需要するパルプ量の供給超過となるらしい說もあるが、朝鮮に此種一工場位の存在は原料勞力等に於て不足がなければ決して其の經營は困難であるまい

▲吉林の鮮銀支店 は月內に開店させる、あの店は今日開いたからと云うて直ぐどうと云ふ事もないが滿洲に於ける鮮銀金融網の關係と將來吉會線でも敷設され色々の企業が同方面に起るやうになつたら必らず重要な金融機關となるであらう滿洲不動產に對する鮮銀の勸銀代理貸附ですか、尙ほ當路の間に講究中問題は東京から既に京城に移つてゐる筈です、此の問題は仲々錯雜してゐるが要するに勸業銀行は內地に於ける不動產金融機關であつて海外に迄放資の途を拓くのは妥當でないと云ふ意見も監督官廳の間に有力らしく結局現行の勸銀法を改正し其の土地擔保貸出しに所有權と限定しあるのを關東州の租借權や滿洲の業主權並に商租權に擴張し得るやうの方法をつくると云ふ事は先づ困難であらう、乃で鮮銀が勸業銀行の代理貸附を行ると極つても滿洲及び關東州に於ける地上の建物並に大連營口安東等の各地に少し宛殘る租借時代の遺物の形となりて傳はつてゐる狹い

▲土地所有權 に對する融通位に留まりはせないか、即ち正金の特貸制もあり東拓も出やうと云ふし鮮銀としては大した事はない、唯一部人士の間の切要な希望に應じ得る位に過ぎないかも知れぬ、然し政府部の間には滿洲の確實な不動產金融機關設置に關し極めて傾聽せざる可からざる有力な議論がある、それは政府に所有權を有してゐる關東州の土地……大連旅順等を含む……を確かな不動產銀行が滿洲に出來れば拂下其他の方法により民間に移してもよいと云ふのらしい、若し之れが實行さるゝ事となれば同地方人士の喜悅は蓋し想像の外であらう、何故ならば現在大連も旅順も柳樹屯も關東州內の地上の家屋中官有に非ざるは民間に於ける人士の所有であるけれど其の土地は政府より借受けたもの乃ち若干の不安は常に居住民の頭を去らない、此の不安を拂拭するから、鮮銀が上述のやうな條件で滿洲に出で更らに東拓が進出する事となれば例の滿洲銀行新設問題の如きは自然消滅して行くであらう、實際同一目的の銀行が今日の程度の滿洲に込み合う程存立して行く必要はないのである

開城

▲兩氏出發 曩に開城署長より總監部高等警察課勤務に榮轉したる岡本警視は家族引纏め八日午前十一時出發せり又開城小學校より南大門小學校に轉任したる長井訓導も出發したるが兩氏の見送り盛なりき▲韓英書院改稱 米國南メソヂスト教會の經營に係る當地私立韓英書院は時勢に鑑みる處あり四月一日より私立松都高等普通學校と改稱し同時に內容の改善を計るべく敎師商業學校長たりし大田代順郎氏を敎務主任として招聘したり尙同校經營の好壽敦女塾も新に山縣悌三郎氏(山縣ソールプレス社長の令兄)を招聘し內容の改善に努めつゝあり

釜山

▲水產三月中水揚概況 釜山水產會社三月中水揚高は九萬千五百四十圓五十錢數量八萬四千五百七十貫目入船三千七百十四隻にして漁獲中重なる魚は『ひらめ』二二、一二九貫二萬二千百二十九圓さわら一〇、九一四貫二萬一千八百二十七圓ぼら一八、八五〇貫一萬五千七百八十五圓鯛三、七二〇貫九千九百三十二圓小ふか五、五九五貫二千二百廿九圓あなご五二〇〇貫四千三百〇二圓さば五二〇四貫四千七百三十六圓等にして之れを前年同月に比すれば水揚に於て三割一分、數量に於て二割五分の增率にして船隻數は同率を示せり而して漁況の比は豐漁と云ふにあらざれ共漁價に於て益々好況を示せる結果にして其成績や同社創立以來三月中に九萬圓以上の水揚げを呈せるは未曾有の事と云ふべし尙前年客月平均相場は十圓位なるも本月の如きは十六圓以上を呈し其比は五割以上の好況を示せり之れ全く內地移出の結果にして現今の市場は內地の市價に左右せらるゝものと云ふべし▲商業會議所役員會 釜山商業會議所は九日午後一時より役員會を開き鑛石分析所設計に關する件、大正六年度歲入出豫算に關する件並びに牧の島埋築に伴ふ沿岸防波堤築造に關する件に付協議する筈なるが右の中牧の島防波堤築造に關する件は曩に釜山民團存在の當時志村某の出願を容れ牧の島薩摩堀を埋立に著手せしに同地漁業者が舟燒場たり錨地たる關係より苦情を申立て調査の結果總督府に於て該計畫の變更を命じ爲に民團は一萬餘圓を辨償したる關係あるに拘はらず今回又々同人より總督府に新同樣の出願を爲したるに總督府は近く許可の指定を爲すべく聞込みたる同島民は大に驚き商業會議所に對し同島漁業者の爲め援助を求め來りしに因り商業會議所は役員會に於て協議を爲し總督府に理由を具申し同地埋築の許可に對する再考を促す筈也と

人事消息

▲城島馬氏(京城覆審法院長) 八日午後仁川へ赴き即日歸京
▲上原憲兵中尉(咸興分隊長) 八日午後入京
▲岡本忠三郎氏(高等警察課警視) 八日午後開城より歸京
▲宋秉畯子爵 八日午後水原より歸京
▲フヲシヤー氏(東京青年會幹事) 九日午前入京セブランス病院へ
▲アビソン氏(セブランス病院長) 九日午前開城より歸京
▲ミラー氏(京城駐在米國領事) 九日午前仁川へ
▲坂口鉄三氏(前代議士) 九日朝入京
▲安武千代吉氏▲菲野雄次氏 各同上
▲兩角鎮氏(平壤覆審法院檢事) 赴任の途八日夜入京山邊前檢事長方へ
▲柳野俊政氏(仁川府尹) 九日朝入京
▲神田喜三郎氏(遞信局郵務課) 九日朝南大門驛發京上
▲御崎舍一氏(京畿道警務部警視) 十日午後五時十分南大門驛發列車にて赴任の筈

逐鹿夜話

▲山口縣で憲政派の總司令德田譲甫君が選擧陣中戲作として『わしが國さ』の替歌を作つた事は先達御報道に及んで置たが江木翼君早速返歌して曰く『わしが國さで困つたものは昔や俗黨今中立候補、卑怯未練な政友候補『忘れまいぞね覺坂件內を』どつちもどつちだ

▲今度の選擧は憲政會の巨頭連が大分苦戰して居る先づ佐賀市から出馬した武富時敏君が副島博士と對抗戰の眞ッ最中へ武富君配下の下村四郎と云ふ人が不平から反旗を飜して遮二無二武富派の投票を奪し始めたので武富派は大に狼狽して居ると云ふことだ、又た高知市から出馬する濱口雄幸君は中野寅次郎君と對抗して居るが何と云つても中野君は土佐政界の元老だから濱口君は大苦戰に相違ない、歸高の船中で既に中野派の一人から散々油を取られて居る

▲愛知縣郡部の政友候補三輪市太郎君は反對派の運動者に料理屋の二階から突落されて大怪我をしてまだ十分治療しないけれど病軀を驅つて松葉杖に縋つて自動車で政見發表演說をやつたり戶別訪問をやつて看護婦に介抱せられつゝ居るので大に同情を惹いて居るとのこと

▲原政友總裁曰く『兎に角頭を殖やすにはマア南瓜を並べる具合にね』とオヤ〳〵それでは光榮ある政友會候補者諸君は總裁から南瓜扱ひにされて居る譯だ

▲長野縣の或部落では全村悉く選擧違反者を出して中には亭主の代理に女房が御馳走酒を飲んだと云ふ念入りのもある而もそれが村會議員の選擧だから奇拔だそれから見ると代議士選擧などには幾程の違反者を出すかも知れないとの評判々々

衝突した其刹那
怎んな感想が浮んだ＝福壽丸に乗合せて 何うしたか＝高麗丸は

七日の夜に下の關を解纜した關釜連絡船高麗丸は可なり強い風と高い浪を切つて十一時近く六連島附近を過ぎ玄界に差し蒐らんとした、多くの乗客は餘り安穏でなさゝうな此の船の一夜をまゐ喇數が多いからと云ふ風に自ら慰めつゝ可成眠つて過すべく各自船室に横たはりボツ〳〵鼾聲を出してゐた頃だ

◆左舷の船首に 當つてブシンと凄じい實に薄氣味惡い音がした然し船の震動は大した事はない、少なくも寝てゐて轉ぶ程ではなかつた何だらう、衝突！坐礁！と小生は極度に神經を緊張させてゐると上甲板は可なり騒がしい、圓い月は中天に懸つてゐる、風は虚空に鳴つてゐる、上つて見やうかと思つたが

◆四邊の船客が 靜かなのを寒いために凝乎としてゐた、そこに慌てゝ二等船室に一人の白衣のボーイが下りて來た『何の音です』『どうしたんだ』と五六の人が一時に聞く小生も亦其の一人であつた、どうも何人も小生同様甲板に上りを躊躇してゐたらしい、ボーイは『イヤナニ一寸やつたので、衝突と云ふ程ではありません、ホンの接觸です』と云ふ潮の音が鳴る、甲板はまだざわ〳〵してゐる、其のざわ〳〵と

◆高麗丸の動搖 の靜止は約三時間程續いた、後で聞いて見ると博多より輸佐國の新根に廻航中であつた福壽丸(前報萬壽丸とせしは誤り)が月明の夜に高麗丸の船影を明らかに認めしに拘はらずどうしたものか其の船首を横切らんとしたのである、危險が兩船の間に迫つた時、兩船共に全力を擧げて避けやうとした、然しそれは遲かつた、ボーイの云ふ接觸は直ちにブシンと來た、其の結果高麗は巨船だけ

◆左舷が凹んだ だけに留まつたが福壽丸は自力で航海が出來ぬ位破損を受け料理人の某は懸墨から轉げ落ちて頭部に負傷した、然し大した事はないらしい、連絡船の衝突の結果約三時間程遲れ八日朝の釜山發列車には接續しない、で多數の乗客は一日を釜山に空費したのである(一記者)

邦人七名を縛り上げて數時間 路傍の柳樹に吊り下ぐ
亂暴な支那民我警官を侮辱す

鐵嶺の東方六十支里を距る范河溝の著名部落たる大甸子の十支里手前に撫安堡と稱する村あり同村の邪某と云ふは昨年中奉天に赴き

◆土地を擔保 として同地の邦商四合公司より金一千圓を借用したるが既に期限を經過すれども返濟せず何時しか延滯利子も積りて元利合計一千四百五十圓に上れるより同公司の松葉佐吉郎は再三出張して督促したるも言を左右に託して容易に支拂はぬ爲め逆も

◆一筋繩では 行かずと思ひ數日前友人數名を語らひ結局七人連れにて居催促に出懸け邪某方に押上りて返濟を受ぬ間は挺でも動かぬ氣勢を示したり然るに邪某が擔保として提供せし土地は同村公議會の所有にして村民の共有地なる爲め村民等は甚だしく激昂し我々の共有財産を日本人が押領せんとするは不都合なりなど

◆激昂する者 あり野次馬連は得たり賢しとばかり是に雷同し去る四日午後一時頃手に手に獲物を携へ邪某方を襲撃し亂暴にも一行七名を高手小手に縛り上げたる後戸外に引ずり出し同夜八時まで約六七時間を路傍の柳樹に吊したり幸ひにして間もなく村長某の救ふ處となり生命には別狀なかりしが村民等は翌五日七名を縣公署に送る事となり後手に縛めたる儘

◆二輛の馬車 に分乘せしめ一晝夜の間一粒の食餌さへ與へず數百の村民馬車の前後を固め縣公署に繰込みたり其の途中車中の一行は我警官の巡邏に會し百萬の味方を得たるが如く嬉しさに飛立つばかり大聲を揚げて救助を求めたるより我警官は大いに驚き群衆を掻き分け馬車に近寄らんとせし處村民等は又々衆を恃んで暴力を揮ひ同巡査に抵抗し終に帶劍を滅茶々々に叩き壞はすなど益々騒擾せしが折好く此急報に接したる巡警局より多數の巡警馳付け來り鎭撫に努めし結果漸く事なきを得七名は直に我警察署へ引渡されたり(鐵嶺)

京都の洋畫家美術館を建てん
不動尊を一萬三千圓に賣却して

京都の洋畫家田野村氏は過般不動地藏尊を一萬三千圓にて横濱の原氏に賣却せり而して右の金を以て洛東妙法院境内に私立美術館を建設すと(大阪特電)

芳川鎌子は尼とならん

千葉病院を退院して東京自邸に歸れる芳川鎌子は親戚會議に於て尼と爲す事に決定したりと(東京電報)

慶南大火
一部落殆んど全滅

七日午後四時頃慶南梁山郡下北面專祐里に出火あり折柄の烈風に煽られて火は忽ち全部落に延燒し鮮人農家三十四戸七十五棟を全燒して八日午前二時鎭火せり人畜に死傷なく損害原因は取調べ中なるが放火にはあらざる見込みなりと(共前特電)

豺の子五匹を生擒る

春川邑を距る二里西下面三岳山の山里には近來猛獸出沒して家畜の被害絶えず所轄春川警察署にては之等害獸驅除の目的を以て李警部以下數名去月三十一日西下面より經驗ある勢子六名を集め有名なる三岳山麓に至り勇を皷して

▲峻險を攀ぢ 山を卷いて狩立てた折しも前面に一匹の五尺餘の大豺が現はれ一行目蒐けて飛び蒐つて來たので一同は銃口を揃へて射ち放つと確かに手應へはあつたが猛獸は再び起上つて死物狂ひとなり山頂に逃げ遂に姿を逸した一行は目的地點たる三岳山の岩窟に到着したところ一個の

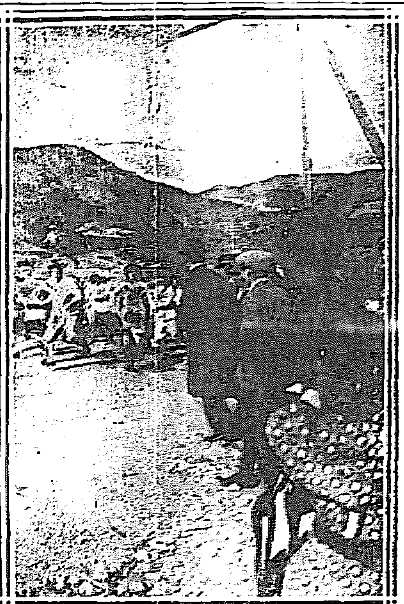
▲猛獸の穴を 發見し一丈ばかり中に這入つて見ると尚ほ一間餘の小穴に何か唸り聲を聞き止めた然るに既に日沒となつたので穴口は岩石で塞ぎ其の日は一應部落に引揚げ翌朝再び現場に出張したるにこの岩窟より五尺餘の大豺現れ一行の姿を見て約二丈餘の斷崖を一飛にして逃げ失せた一行は直に前日發見した穴に到り生後一週間許りの豺の子五匹を捕獲し凱歌を奏して引揚げ目下春川警察署に飼養中である(春川特信)

江原道に積雪一尺

江原道洗浦附近にては去る七日以來氣温著しく降下し八日夜より降雪あり九日朝に至り積る事約一尺に達したるが未だ降り止むべき模樣無し(洗浦特電)

長春暖氣加はる

長春は暖氣頓に加はり七日の氣温は最高攝氏六度七最低六度四を示せり(長春特電)



◆釜山聯合大運動會

在郷軍人釜山分會の春季運動會と釜山日報社の計畫したる各商組合團體の春季運動會とが合致して茲に釜山聯合大運動會は八日午前九時より釜山公立の廣場に於て開催せられた釜山市内の各商店は殆んど業を休み正午頃には群衆二萬を算し未曾有の盛況を呈した此日午前八時煙火を合圖に釜山公立高等女學校前を發足點として釜山鎭に至る約一里のマラソン競走あり第一着は大邱より來りし吉友正一(十二分十四秒)第二着は松後六三郎、第三着は江藤岩雄、第四着は明地經國、第五着は河村敏一郎何れも守備隊兵士連の占むるところとなりたり拔て數發の煙火を合圖に在郷軍人釜山分會長吉成少佐は會場中央の壇上に立ちて勅語捧讀、會務報告、開會の辭あり尋で後守備隊兵士卒の密集教練、臨時編成の戰鬪演習(中學校、商業學校生徒參加)及火演習其他種々の演武あり夫れより各商店員、各學校男女生徒の競爭運動ありて午後五時無事散會したり(釜山)

隱城丸無事離洲

七日午前十一時獨津南近に坐洲せる隱城丸は船體乘客共何等の異狀なく八日午後三時無事離洲し雄基に向へり(淸津特電)

選擧運動員廿一名告發さる

愛知縣の代議士候補者與桃三樹之助(政友)の運動員二十一名は選擧違反にて告發さる(大阪特電)

大豹を射止む

元全南莞橋憲兵分遣所勤務なりし憲兵伍長小野長五郎(三)は射的に巧みなる處から此程輕裝して猛獸狩に赴き寶城郡會泉面にて首尾好く大豹一頭を擊ち止めたるが間もなく六十圓にて賣却したりと

石炭四十五噸流失

釜山大池氏所有の帆船二隻に石炭五百九十噸を積載し南濱寶水川尻より瓦電會社に陸上げ中五日午後に至り風浪高く船體動搖甚しく浸水の憂ありたるより一先づ陸上げを中止し絶影丸曳船して北濱漁港に歸航の途中赤燈臺の附近にて一隻の帆船の曳綱を切斷され浪に翻弄され沈沒の危險に瀕したるより己を得ず船を轉覆させ小船として漁港内に曳きたるがこれが爲石炭四十五噸(價格五百八十五圓)を放棄したりと

病妻を置去る

愛媛縣越智郡大井村生れの神野完一(三)は數年前妻を携へて鎭南浦旭町に來り島津興市方に雇はれ中先頃放蕩の爲め同地にも尠なからぬ負債をつくりおまけに昨年妻は癩病のため身體盡くならざる所から三月十一日午後六時頃無情にも癩病の妻を棄てゝ家出し行衞を晦ましたるより妻は鎭南浦署に捜索方を願出でたるが未だ行衞不明なりと偶完一は汽船運轉手の免狀を携へ居れば或ひは何處かの船舶寄港地にて汽船に乘組み居るやも測られずとの事なり

河豚の中毒

平安南道三和郡南村面梧樸里當時鎭南浦債兩機全中星(二八)は江西郡登塲浦趙東珏(三七)と共に三月三十一日午後十時頃債兩機の濱に繫留せる平南丸の船中にて河豚を料理して肴とし酒を飲みたるところ四月一日午前六時頃二人共中毒して死亡したるが兩人は平南丸の船夫なりと

鄕人に告知を送り暖町遊廓に遊び立て主家の金を運び込みたれば暫時に費へ果れよと數き六圓を騙取したる事發覺し平壤署に拘引取調の上檢事局へ送らる

◆春季カタログ發行

[illegible]

◆浮世繪展覽會

[illegible]

讀者文藝(一等には五十錢の景品券を呈す)

▽物は付(落著かぬものは)

▲人を待たせてする食事 龍山 乃葵
▲怠惰者の尻 京城 神崎生
▲変つた醫者 龍山 染子
▲初めての受持ち 京城 霧
▲火事場の荷物番 京城 十發丸
▲下手が積む石垣石 成鏡 天狂
▲一等なし

黒鼠

富山市山王町生れ大谷健一(三七)は元京城旭町菓子商明月堂矢田長吉方に雇はれ注文取り又は集金等に從事中昨年七月二十五日同店の賣掛金十三圓を横領して逃走し平壤に至りて壽町菓子商古都軒の店員となり一月以來同店の得意先十數軒より集金したる菓子代合計十六圓餘を横領費消し又店頭の生菓子代一圓餘を數回に窃取し之を賣却して代金を横領し三月二日には竹園町鐵道官舍渡邊某方同居の奥野正一なる同

灯ともし頃

道回警務總監部高等警察課長の職を辭して京城を發する山形少將は京城で山口太兵衞さんとならび稱せられた長尻の酒豪であつた△それに就いて今に評判のはなしがあるそれは何時か明石將軍がまだ警務總長であつた頃ある日山口太兵衞さんから將軍の許へ手紙が届いて大に一夕會飲しようとの挑戰狀である△之を見た明石將軍は相手が名にし負ふ太兵衞さんなのでコリヤアたまらぬ怖氣づきあの長尻で鷄鳴曉を報じられては大變だとばかりひそかに山形少將を身代りに出した△ところがこちらも名だたる山形さんなので さしつさゝれつ一向ひるます果てはそろ〳〵東天紅の頃ほひと相成り双方まだ物足らぬ顏に分れたとは今に悲聞の噂に殘つて居る△朝鮮東海岸の水産王奥田鑓藏君はとんど郷里鳥取縣で代議士候補に打つて出る相な△ところが代議士は先づ良いとしてとんと金剛山麓の畵のやうな長箭港に家を建てた△家は君一流の暢氣な大きな素晴らしいもの愈よ出來上つて見ると肝腎の便所がない△これは何うしたとか大急ぎで建てて見ると這回は肝腎の瓶がない……有繋に奥田式で面白いと見て來た人の笑ひばなし

商況

債券現物特電
[illegible]

東京公債直取引
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報

◉混沌たる大豆 [illegible]

萬叺大阪方面には約五萬叺位の停滯 [illegible]

萬叺東京方面には約四 [illegible]

爲換切れの物甚多し [illegible]

市價は常に產地高に傾き一般の悲境に陷 [illegible]

◉鐵板類暴騰 鐵板三二六物五圓 [illegible]

◉樫皮の新利用 [illegible]

輸出不引合 [illegible]

沈衰 [illegible]

大部分は朝鮮產を以て之に充つ [illegible]

◉朝鮮紙不勢 [illegible]

單寧の含有量 [illegible]

騰貴 [illegible]

◉洋釘又昂騰 四八物十圓方暴騰 底强 [illegible]

一齊に昂騰 三時五十錢高の二十一圓三時半は一圓高 [illegible]

◉麥酒値上發表 上は協定成り 三社は愈々値付二圓値上げ一箱 ボロは四打入一箱 キリン及サッ [illegible] サクラは獨り協定外

◉醬油は消息 麥酒は今後の混戰 [illegible]

今村覺次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 三六八番

仁川期米

▲九日前塲 [illegible]

六圓七十三錢二厘 [illegible]

七十二錢 大阪前止十 [illegible]

九錢五節六十五錢 大阪四節六十 [illegible]

こ安移 [illegible]

仁川現物市塲
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門の雜穀
[illegible]

▲前塲の手振 [illegible]

▲①の商内 [illegible]

▲願荷に復す [illegible]

▲第二回 [illegible]

▲更に動かず [illegible]

雜貨 [illegible] 迅速 [illegible]

備米八九萬叺 當月限の準 [illegible]

或る筋と内約 或方面に充當 [illegible]

生魚市塲

日乃丸市塲 [illegible] 左の如し

市塲零聞

▲保合底强し [illegible]

期米 仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人 [illegible] 之助 電話(三六七・三六九) 賣買 [illegible]

大體薄商内 賣物薄の塲合忽ち六錢方と返して [illegible] 正米の賣物薄 [illegible]

仁川米豆取引所

九日の六月限

前塲		平均値段	
寄付	[illegible]	一節	[illegible]
止め	[illegible]	二節	[illegible]
高値	[illegible]	三節	[illegible]
安値	[illegible]	四節	[illegible]
出來	[illegible]	五節	[illegible]

賣買取組高 [illegible]

靑物だより

[illegible]

讀者文藝課題及募集規定

[illegible]

募集規程

▲用紙は端書又は 同一の洋紙一枚毎に此上の雅號又は 雅名の外に住所氏名明記の事 ▲賞 [illegible]

天氣 くもり

曇少雨後晴

四月十日(九日午後六時迄)

[illegible]

滿洲視察團
四月十五日出發 同二十九日歸著

本社主催の南北滿洲視察團準備完成し愈々來る十五日午前九時十分南大門驛發北上往復二週間廿九日午後七時三十分京城驛著に決定仕ましたが團體の臨訪地、日程及び各地の滯在日子、發著時間等は左記の通りです

視察團日程

地名・發著	日次	時間
京城發	十五日	前九時十分
安東發	同	後八時卅分
奉天著	十六日	前五時廿分
同發	十七日	後三時四十分
營口著	同	後八時廿五分
同發	十八日	前十一時十分
大連著	同	後七時
大連	十九日	（滯在）
大連	二十日	（滯在）
大連發	廿一日	前七時五十分
旅順著	同	前九時廿分
同發	同	後四時四十分
大連著	同	後六時十分
同發	同	後十時
湯崗子著	廿二日	前九時卅分
同發	廿三日	前三時五分
哈爾賓著	同	後十一時五十分
哈爾賓	廿四日	（滯在）
同發	廿五日	後零時五十分
長春著	同	後九時廿五分
同發	廿六日	前十一時廿分
奉天著	同	後七時廿八分
同發	廿七日	前十時四十分
撫順著	同	後一時四十分
同發	同	後六時廿五分
奉天著	同	後八時卅分
同發	同	後八時五十分
五龍背著	廿八日	前五時五十七分
同發	廿九日	前五時五十九分
安東發	同	前八時二十分
京城著	同	後七時卅分

團體としての行動は前記の通りですが歸途四月二十八日午前六時五龍背溫泉場著正午同所ホテル五龍閣庭園に於て盛大なる解散園遊會を開催して後ち安東、新義州視察希望の方に限り同日午後三時二十二分五龍背驛發同四時安東驛著にて南下翌廿九日午前八時二十分安東驛發釜山行の列車に乘込まるゝ迄の間は自由行動御勝手次第であります

主催 京城日報社 毎日申報社

お土產戴いて 南山幼稚園雨の日の入園式

南山の幼稚園では九日の午前十時半から入園式を行つた、朝からシヨボ/\と降り出した雨の中をお母様やお父様に連れられて今年から入園する男の子や女の子が澤山集まつた、先生から保護者に服裝は質素で

◆遊戯に便利 なもの、仕立方は筒袖又は元祿形にする事、玩具は持つて來なくとも幼稚園に在る事、手拭若は鼻紙を忘れずに持參する事、すべての持物には名前を書いた小札を附けておく事、その他いろ/\の細かい注意があつて、それから皆様は明日から幼稚園の生徒になるんですから溫順しい好い子になるのですよ、そして毎日先生と

◆面白く遊ぶ のです幼稚園に來ればいろ/\の玩具がありますし、朝は時計が八つ鳴つたら起きて夜は八つ打つたら寢るのですよといふやうなお話があつてお土產をいたゞき十一時半になるとお母様を急き立てゝ皆歸つた、今年の入園兒は七十五人、その內來年から學校へ行く子が三十三人

◆再來年から 學校へ上る子が三十三人、殘りの九人は三年目に學校へ行く五歲の子供だといふ

圖 滿洲視察寫眞帖（七）（哈爾賓東清鐵道會社總裁ホルワット中將）

◉奉賛獻金送納 愛國婦人會朝鮮本部に於て昨年來取扱中なりし明治神宮奉賛獻金は婦人子供の分は其の總員內鮮人を合し三萬三百二十六人にして此の金額四千八百四十圓七十七錢に達せるが右は先般總督府を經て東京奉賛會本部に宛て送納したり

◉愛婦慈善會收入高 愛國婦人會主催聯合國傷病兵慰問金募集慈善演藝會は豫期以上の盛況を見入場券の賣上高七百九十圓四十三錢にして一切の費用百九十圓四十三錢を差引き六百二圓六十七錢の純收益をあげしが此の外京城各役員の寄附せる三百五十三圓八十錢を合せ總計九百五十六圓五十錢を得るの好成績を示し何れも各道支部取扱のみにて二千圓以上に達す可しと

◉寶生九郎追悼會 來る十五日午後一時より仁川佛教青年會々館に於て寶生九郎の追悼會として謠會を催ほす由

◉自轉車に衝突す 五日午後零時半京城林町煙草商李某周が自轉車にて鐘路通より東大門に向け疾走中貫鐵洞居住金姓女が長女成（こ）を背負ひて永樂町に向け通行せんとしたる際街路の四つ角にて自轉車に衝突して打倒れ輕微の擦過傷を負ひ仁寺洞相愛陽醫院にて應急手當を受く

◉實子を壓殺す 全南都面牛項里李海璇は十年前妻閔氏を迎へたるも女房は本夫を厭ひ實家に歸省中姙娠し本年五歲となれる鳳柱を分娩後復歸し爾來兎角紛議のうちに同棲し居りしに又も妻閔氏は海璇を棄てゝ實家に歸りたれば憤怒の餘り李は此程溫突內にて鳳柱を壓殺したる爲め其の筋に檢擧されたり

◉寄進の石燈籠竣成 京城南大門通五丁目茂呂居明市氏は嘗て南山東本願寺別院へ石燈籠一對寄進志願の處今度竣成することゝなりたるが同院にては十一日午後二時より除幕式を擧行する由

◇大阪の流行界
◇雅趣ある洋傘いろ/\◇

大阪でこの春に流行の洋傘を見るに先づ花の空とも見ゆる強き黑色に淡紫色にて吉野山五重の塔に花霞む景を濃彩に畫に

▽友禪風 に染出して之に鼠色の合せ染み施したるものさては無茶色地に浮び出でたるが如き花見船前の水に日傘さしたる遊山船一方に櫻の花を大きく散らして所々に散る花吹雪を飛ばせたる模樣など宛然錦を見るごとき美しき風情に富んで居る、次に友禪風を巧に應用したものとしては春の夜のおぼろ月ほんのり夜空に浮ばせて傘の全面はあづき茶のうすぼかしたる樣に青柳からませたる模樣はその夜ほの夜の氣趣が窺はれなほ、これもおなじ

▽春の宵 かつ鐵納戶のぼかし染めにて都の灯きら/\と輝く夜景の模樣傘を開きゆくまゝに星の圖案となりて現はるゝ趣向はたしかに奇抜と云ふ外なし、うらゝかな氣分に滿ちたるものとしては傘全面に茶綠色、茶草色、紅茶色にて春の川邊の氣分を染出し線にて流るゝ水のゆるやかな態を現はして川ぞひ柳に朝陽にて蘆を配らひたる或はまた鼠茶色地に中央へ金銀の水模樣にて春の谷川の情景を見せ

▽櫻の花 若葉を散らしたる或は濃き納戶地のぼかし染めにさらに濃色にて鬣ばしき永數を撒ばせ所々に蝶を飛ばせたる春の川邊の圖案など何れも長閑な眺めを洩らすこと思はるゝ、なほ爽やかな氣分ある櫻へたグリーンの綠取り模樣としては薄き色にて水の波紋に蝶鈴を飛ばせたるまでは白地に三寸程の若葉色にて綠取り、傘全體を斜に虹の浮橋、小鳥飛び交ふなど

▽若葉頃 の雨晴れの氣分を現はれる其他一體の赤地にオブラと水禽を集出したるものなど來著ひてまさに來るべき新綠頃に喜ばるゝ、洋傘としても極めて晴れやかに快いものでエヂプトの水蓮模樣を現はしそれにエヂプト繪文字を模樣風に配置したものなど鮮新なる形式として見るべく文黑地に團子型の白の丸顆きを配した模樣なとも

▽一部分 に塑取つたのも目新しくクリーム地に海老茶の松皮取りの露骨の角々にはセセヤにて山水の細繪を描きたる何れ劣らぬ奇抜なものである（大阪電話）

♣進步した玩具
―著想はお伽噺から―

玩具の造り方や色彩の流行等に依つても、其民性の一面が知られると云ふ程ですが、日本出來の玩具も數年前と比べますと

▣近頃は 餘程進步して參りました。例へば牛、馬、猫、犬、虎などの動物類です、これ迄の造りは大抵白フランネルや、羅紗等の屑切れで間に合せ、これに配色する繪の具も綠、赤などの强烈な

▣色彩を 用ゐて甚く見て居ると疲勞を感ずる如なもの許りでした處が近頃のものを調べて見ますと、價は幾分高くなつて居ますが、布地は一寸見ても柔かい感じのするホームスパンやフレヤンセルの

▣上品な もので、色彩は一切生の色を用ゐず、紅には黃、綠には黑と云ふ如に二色を交せ合せた落ちついた用色が使つてあり、其配合も大變淡泊になつて參りました。それから活動的の玩具でなければ

▣賣行き が惡いと云ふ如な此頃の實例によつても小兒の智識が何れ程までに突き進んで居るかと想像されます。電氣仕掛のモーターボートや、玩具發動機、手を引けば自然に步くお人形など其他最新式の

▣智識的 玩具は數へ切れぬ程御坐います。羅物一枚を著た西洋のお人形などは首も自由に曲られゝば手も足も折曲が出來、然を廻せば活潑に體操をする如なのがありますそれから木造のものでは

▣危險の 伴はない、土いぢりのシヤベルとサンドカア等も此頃の遊びにはよい玩具です、變つた趣向のものとしては少し滑稽た惡戲な蛙、魔法箱、解けない糸卷きなんど、其著想は大方

▣西洋の お伽噺から取つたものであります。玩具の造り方が何して斯う急速に進步して參つたかと云ひますと、歐洲戰亂以來

▣日本で 其製造方を引き受けました爲めに、專門家は外國の註文振りを見て餘程參考にしたからであります。

お惣菜

▲コロツケ 豚肉を挽くか又は細かにたゝき人參と玉葱とを細く刻みフライ鍋にラードか胡麻油を落とかし肉と野菜とを一緒に入れていため鹽と胡椒とで味をつけます別に馬鈴薯を茹でゝつぶしたのを前の品々とまぜ合せ冷めないうちに玉子ぐらゐの大さに丸めてうどん粉の中でころがし玉子の黃味を上からつけてパン子をまぶし手でよく丸めて半時間程置き少し固くなつたところをラードか胡麻油で揚げ新聞紙の上にとり出して油氣をとります あたゝかいうちにソース又は醬油を少しかけて食べます

亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛
鑛種に對し
鑛區買入（許可鑛區 先願權）
融通鑛物買入
評價 資金
京城明治町一丁目七番地
正已鑛業所
電略（マ）又は（マミ）電話一五九番

演藝案內

浪花館 明治町 電話二六〇
▲女傑吉田奈良女 ▲廣澤虎春持別出演 大日本親友派評議員
旭旗風（奈良二）須磨の浦風（大和）め組まとい（三笑）御前試合（奈良長）橘大尉（虎雄）景清訣錄（虎春）雪の曙（豊川利生記）二席（奈良女）

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店
△四月六日より提供する新寫眞

壽館 京城壽町 電話一〇〇三
御名殘御禮興行 京山愛子一行

連日滿員御禮 大正館
㊀活劇第六快漢ロロー ㊁舊劇山中鹿之助 ㊂新派悲劇勇み肌 ㊃滑稽チヤプリンと鏡

御成座 一丁目 電話一九一
帝國之花 全十場

有樂館 京城本町一丁目
早川演藝部直營
▲大好評の名畫大興行八日夜間限り

壽座 京城壽町 電話五七八番
曾我廼家蝶鳥會一行
四月十日より第九回替り狂言
第一 無筆
第二 親の罪
第三 命の安賣
第四 御免やす
○愈十日限り千秋樂
▲卅錢均一

上京中の處本日歸院致し從前の通り診察に從事致候
二宮產科婦人科醫院
二宮亮吉

ニセアカシヤ苗
山林果樹植物一切
大勉强販賣仕候
仁川紐峴驛前
北垣林之介

致富之泉!!進呈
營業所（堂島濱壹丁目）
大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店

大正わらじ大發賣
普通のわらじの十倍つよくてはき心地能くていさゝかも足が輕くて汽車のてまで引き決して御試みあれ
一足の見本を取り見本實費ある一定價一足二錢
▲一梱三百足以上は運賃に付き五錢
當店持ち
各國用草鞋問屋 石製造 門司幸町八丁目振幅七一二番
わらじや

テントン日覆雨覆製造販賣
安價貸テントン仕候
宮武テントン商行

長靴
長サ 半長金五圓五十錢 本長金五圓八十錢
ボックス皮製編上
一號金武圓八十錢
二號金三圓八十錢
三號金四圓八十錢
ボックス皮製短靴型
一號金武圓九十錢
二號金三圓九十錢
三號金四圓九十錢
ボックス皮製深ゴム
一號金三圓八十錢
二號金四圓三十錢
三號金五圓三十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候御注文次第（送料實費）にて御送付申上候●最新型錄進呈す
東京府御用
東京日本橋幸町
日野製靴店
（電話京橋三六三九番 振替東京九九五一番）

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も迅速と可然親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社寫眞製版部

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
代理店
櫻正宗 發賣元
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替口座京城七五番

眼病になり易い此頃の時節にせひ共なくてならぬ目藥は世界の最高貴藥
アドリナリンを以て製せる
アドラ
目藥であります
アドラは高峰博士創製の最良目藥でどんな眼病でも之を點眼せば不思議な程よく効きます
小瓶金十錢 大瓶金二十五錢
發賣元 東京室町 泰昌製藥株式會社

イケダ小兒病內科醫院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話一八〇四番

むすめ印
すもの素と酢の
御料理用にぜひ一瓶なくてはならぬものはむすめ印酢の素なりむすめ印酢の素は本邦に於ける最良の品にして其の元祖なり品質の優秀なる事は夙に世の定評あり
各地信用アル洋酒罐詰食料品店ニアリ
類似品多シむすめ印酢の素ト御指命アレ
製造元 大阪 近藤商店
發賣元 大阪道修町 小西商店洋酒部

印卷煙草用ライスペーパー各種
右格安品入荷仕候ニ付多少ニ不拘御用命被仰付度候
營業種目
京城南大門通四丁目
駿府商會

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六
東京パイン萬年筆出張所

實用英語夜學會新學期
!!!會員募集!!!
來る四月十日より開始 會費外人教師出席教授
會場 京城本町二丁目 日本メソヂスト教會構內
事務所 同三九 藤岡潔方（電話二五六五番）

▲警文風雨強かるし ▲低氣壓位置黃海北部 ▲低氣壓示度七百五十粍 ▲進行方向東 ▲警戒區域平安南道、慶尙南北道、沿岸及び內陸

八日午後九時釜山入港對馬丸 一二等

明君道中記

第百十席　田邊南龍口演

大工の與三郎は棟梁宅兵衛に向ひ與『今お話しをした通りで、一日過ぎはなけりやア狂氣のやうになつてお孃さんが騒ぐので、然う云ふわけでございますから、チヨツト行つて貰つて來る事が出來ないやうな事があつては大變で』宅『馬鹿を云へ、默つて來る事が出來ないやうな事があるものか、例へ汝どお孃さんがどんな事になつて居やうとも一日か二日だ

是程俺が理由を云ふのが判らねのか』與『それはね判つて居りますがね若し仕事に行つてそれつ切りになつて來られねやうな事がありやすと……』宅『馬鹿野郎、戰に行くのじやア無い仕事に行くのだ、それじやア何か汝何うしても行けねのか、それならそれで宜いがな、與三宜く考へて見ろよ、汝が楠木藤右衛門大藏の愛顧になつたのも、又只一人で茶座敷を造らへられるやうになつたのは誰のお蔭だ、恩を忘れてそんな白痴事を云やアがつて汝なんざア弟子とは思はねわ、その代りなんだ俺は是から先何方へ行つても仕事の出來ねやうにして遣るからな、日光街道で仕事をして居る處を見たら捨ては置かねわ』與『マア待つておくんなさい、親方それは棟梁の御仰る通り一言の

申し譯もありません、七ツの時よりお世話になつた私、決して棟梁の御恩を忘れはいたしません、では宜しうございます、何うか親方一日か二日かで、暇をおくんなさいましね』親方』宅『だから始めから頭數さへ揃へれば宜いと云ふのだ』與『然う云ふ事なら行きませう』と仕方なしに約束をした。彌々左官及び屋根職を始め下手方を全部揃へて城内へ乘込んで

參りますと、市野平馬と云ふ家來が出まして平『棟梁宅兵衛始め一同此方へ參るやうに』と庭へ一同を案内して三方には幕が張つてございます、其處に控へて居りますと暫くたつて城代家老の川村靱負が出て參りました靱『大工棟梁宅兵衛を始め一統揃つたか』宅『殘らず揃ひましてございます』靱『左樣か、只今其方等に申し聞ける事がある、普請出來いたすまでは決して城内を立出る事は罷りならん、職人と一統へ申し渡す、若し立出る者ある場合は嚴しく處分を申し付ける、一同血判をいたせ』職人共は是を聞いて甲『何をするンだ』乙『血判をするのだとよ』甲『血判とは何うするンでね』乙『大きな指へ墨を攪拌して置いて尻持をついて紙の上へ押すのだらう』甲『馬鹿を云

ふない、そんな事があるものか』宅兵衛は是を聞いて宅『馬鹿な事を云ふな、血判とは血で判を捺すのだ、今俺がするからその通りにしろ』と宅兵衛は小指を取つて左りの小指の先を切つてその血を以つて自分の名の下へ捺します宅『皆な然うするのだ』甲『此奴は痛いね、棟梁ので間に合して頂きたいものだ』乙『然う叶くものか』甲『然うと知つたら三文判でも持つて來たものを……』宅『未練な事を云ふない、早くやれ』甲『ヘエ〳〵、遣りますよ』茲で各々その小指の先を刺し血判をいたしてそれへ差出しました、是を見ました靱負は靱『斯く血判の濟んだ上は圖面模型を見せて取らせる、宅兵衛是へ參れ』宅兵衛がズツと進んで拜見すると驚いてしまつた、それは彼の釣天井で柱は合せてあり天井は毛繩で鎖を以つて繋ぎ、その天井の上は盤石を積重ねてあり、愈々と云ふ時に毛繩を切つて天井を落すと云ふ工夫宅兵衛は色を變へて宅『恐れ乍ら是は却々容易ならない事でございます、斯樣な御普請では私な共にてお引受け申す事は出來ません何うか是は他の人に仰せを下さいまし』聞いて川村靱負は面色を變てヂリ〳〵と進む

京城府永樂町一(商品陳列館通坂)
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

四月十一日 九星
舊閏二月廿日 癸未
半白 五黄 八方定 先負
[illegible]

富の道しるべ
山縣五十雄 村上唯吉共著
價十五錢 郵税二錢
京城太平通 振替二〇〇番 京城日報社代理部

胃腸最新藥 ヂゲスチン
胃腸疾患、食慾不進 重病後の恢復期、營養補給の目的にて師の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を增し精力を盛んにす
◎説明書送呈
東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商店

中風病(ちうぶう)
余が家は祖父及び父と母と三人とも同病にて困難したる系統にして其悲き實驗より得たる良藥を往復ハガキにて照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す
△兵庫縣明石鍛治屋町 加古忠兵衛

梅毒(ばいどく)の淋病(りんびやう) 無料相談
▽病名を記し八ガ手で申込めば△
▽詳細説明書は直に封送さる△
■初めて病毒に傳染し醫師に行くも恥しく治療を受けぬ人も安全なる内服化學劑で自宅で
梅毒が出ぬ内に治る
入院も現代最善の自療法たる化學劑で自宅で安全迅速に治る
東京市本所區向島小梅町 東京藥化學研究所

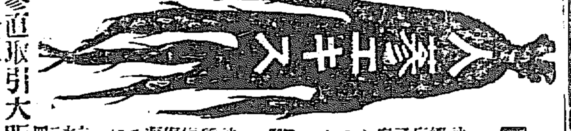
病で苦む人 てんかん ヒキツケ
困難の方切手三錢送れば良藥を送る
自宅でなをす最善の良藥
名古屋市中區南小川町 救生館
○○○障害である

男女のひみつ(はご)
▲遺精早漏の人
▲夢精過漏の人
▲勃起衰弱の人
▲陰莖萎縮の人
▲神經衰弱の人
ヒステリー症の人
▲手淫過房より起る

内外科 小兒科 花柳病科 入院隨意
安東病院 京城長谷川町 電話七三番

わきが
ファーザーを御用ひあれ にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は 藥價六十錢 一圓
京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二九四九

長壽の靈品は『ヨッグルト』
滋養・健康の母『荒井の牛乳』
京城若草町 荒井牛乳販賣部

朝鮮總督府許可


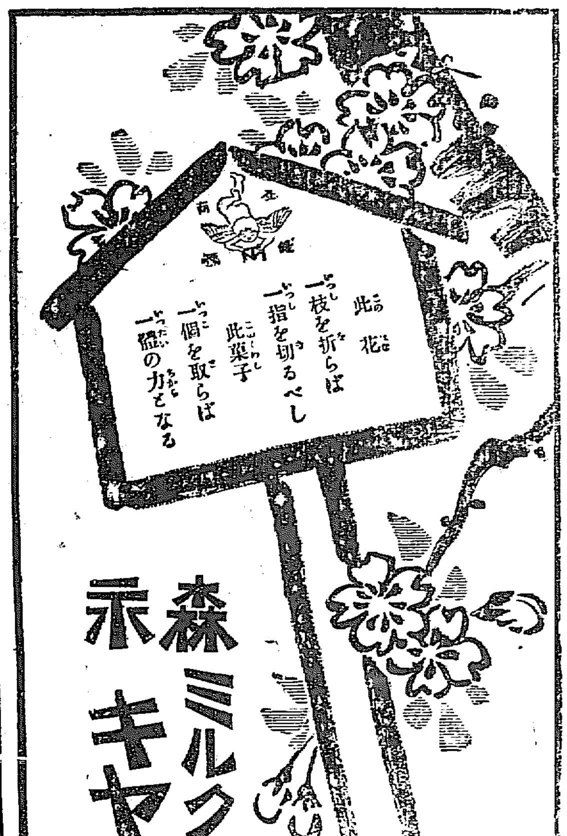
内用効能 神經衰弱、老衰、疲勞、病後、子宮病、胸病、胃腸病、不眠、諸病より起る滋養強壯劑なり
外用効能 神經痛、火傷、凍傷、打傷、切傷、腫物、肩の張れ、にきび、凝血、時節の蟲等によし
定價 六十錢 三十錢 二十五錢 四十五錢
人參直販引大販賣所
人參エキス 朝鮮名産 滋養藥 人參菓飴 一切製造本舗
京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一〇番
京城本町一丁目 津村兄弟商會人參部 電話一八七〇番
支店 龍山 大邱 釜山 支店
本舗に御注文の節は直接に全道の藥舗に、其他全道の藥舗に於て販賣致居候

腦病良藥 レーベン

岡田博士を初め森、日向、西島、福田、内田氏等十有餘名の諸大家が有効を證明せらる
本品は最も推奬せらるゝ食藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり
神經衰弱、頭痛、不眠、記憶力減退者に
腦病患者は是非一度試みられよ
藥價 三十錢 五十錢 八十五錢 一圓六十錢
東京日本橋區 中西定太郎
大阪 中南定太郎

目まい たちくらみ 腹いた 急病・流行病の特効藥
登錄商標
萬病感應丸
本舗 大阪 正野法橋玄三
販賣店は全國有名各藥店

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四〇番
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏
内科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

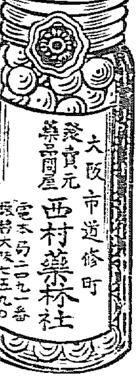


森永製菓株式會社

毅然として好評嘖々たる
金鶏香水の
床しき薫り
花の頃から夏かけて
愈々需用の眞最中

七日ソバカス鏡をどうる色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す
送料内地八錢 滿鮮廿錢 臺樺廿錢
東京神田和泉橋際 松本藥店
小瓶二十錢 徳用四十錢

消化と毒けし
仁丹
花見遊山に仁丹 御携帶が肝心
金言

淋病新藥 ゴノチール
▲極メテ合理的ニ製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ
◎各地有名藥店ニアリ
説明書ハ現品ニ添附ス

發賣元 大阪市道修町 藥品問屋 西村藥桴社
電本局二〇九一番 振替大阪七三九〇
一函 三十球入 六十球入 百球入 徳用 五百球入 千球入

第三版
京城日報
四月十日
(夕刊と合せて八頁)

[illegible]圓九十六錢大阪前止十六圓六十一錢[illegible]入電にて當地當限不申市十二圓八十二錢先十三圓十五錢と前場に寄付たるも市場氣乘り薄にて六錢と引けて動かず保合に三節を送りたるが大阪五場[illegible]六節六十七錢と高勝りに八錢と[illegible]

▲後場の手振 [illegible]今後の成行如何重なる商內は買方[illegible]四千餘石賣方[illegible]二千餘石[illegible]千餘石等に對し買方[illegible]三千餘石[illegible]二千餘石[illegible]各千餘石等にて他は小口商內であつた

[illegible]ると昇進[illegible]報じ居ると[illegible]強氣筋の思惑及び當月限の賣ぎ未大部分を占め居ると中限の手當並及び各輸米所の思惑米のみにて賣品としては殆ど皆無の有樣に加へて

▲永[illegible]大豆七圓七十五錢[illegible]川大豆七圓七十錢[illegible]七圓七十五錢等に出來たり ▲後場中限[illegible]十二圓八十[illegible]四千八百石▲先限[illegible]十三圓四十五錢

講和促進企畫

獨墺側に於ては近來再び講和を提議せんとし其の促進運動を計畫しつゝありとは屢々外電の傳ふる處にして且つ近時勃牙利も亦聯合軍に對し單獨講話を提議せんとし露國革命中たりと傳へらる之を要するに露國の革命遂行と米國最近の斷手たる態度とは遂に中央同盟國を驅りて或は遠からず講和の再提議をなさしむるに至るやも知れずと觀測せらる即ち獨逸が近來國內の社會黨を介して露國內の社會黨に講和促進の運動を反覆せしめつゝあるは最早掩ふべからざる事實なるが如く曩に彼の獨逸宰相ホールウェッヒが『戰後獨逸の政體も亦漸次民主化するに至るべし』との趣旨を演說し獨帝は露國民が辛うじて獲得したる自由を再び若くば再び專制政治を樹立せしめて臣民を奴隸と爲すが如きことなき事を申せる等孰れも之巧みに露國を誘ひて以て一般講和の端緒たらしめんと[illegible]獨逸社會黨と露國社會黨との間に[illegible]相通じたる[illegible]閥に在りと信せらる即ち墺匈國の北蒙りたるものは獨逸よりも寧ろ墺匈國にして今次の民主的革命に由て最も打擊を明と解するを得べし然れども露國部にはチェッヒ族、ポーランド族、ルテーネ族等のスラブ人ありボヘミアの首都プラーグに於て從來屢々スラブ大會を開催し墺匈國の羈絆を脫せんとするの意圖を示し來りたるもさればとて彼等は露國に合體する事を希望せず寧ろ自ら自由民權思想に基く一獨立國を建設せんと宿志を懷抱し來りたるが今回偶々露國の革命成功に因り露國の宮廷流官僚派は沒落しロマノフ家亦覆滅に瀕し政界は漸次共和的色彩の濃厚を加へ來るありて新政府亦既にポーランド及びフィンランドの自治を誓盟するに至りたるを以て墺匈國內のスラブ族に對しても多大の動搖を與へたる可きは想像に難からざる也されば墺匈國が國內スラブ族の離反を恐れて此際露國との講和を促進せしめんとするに急なるは敢て理由なきに非ず寧ろ當然たるの觀ありと云ふ可く墺匈國內亦既に『露國のツアーリズム沒落して征服的汎スラブ主戰の打破せられたる以上墺匈國は最早露國民と戰ふの必要は消滅せり』と云に至るが如きは其の意味が露國民及び國內スラブ族の歡心を集めんとするにあるは明か也と云ふを得べし勃牙利の單獨講和說の如きも中央同盟諸國が今や眞に衷心より講和を希望しつゝあることを殊更中外に聲明して以て曩の講和提議に際して其の誠意を疑はれたる失敗を反覆せざらんと欲する特別の用意なりと解せられざるに非ず更に米國近來の態度も或は獨墺側に最後の威嚇を加へて以て歐洲戰場に於ける一大決戰に先ち戰局を導きて講和期に入らしめんとするの底意なるやも計り難しとの說さへ傳へられ勿論聯合軍が之に耳を傾くるや否は全く別問題とするも獨逸側が近來頻りに講和促進運動に熱中せんとしつゝあるは先づ事實と見るを得べく其の現實は別問題なりと雖も前途は稍注目に値せざるに非ず

山形少將を送る

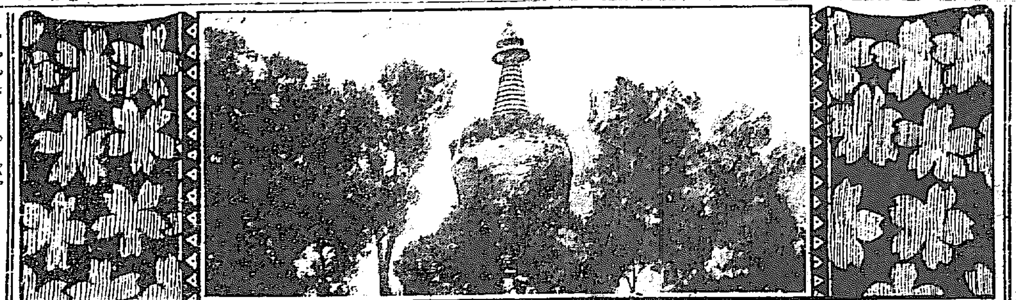
山縣生

十年一日の如しとは常套の語にして、人の多年同一の任務に服したるを賞讃するに用ゐらるれど、或場合に於ては此讃辭を與へらるゝが却て不名譽なる事なきにしもあらず。何となれば此讃辭の半面には變化なく進歩なき平凡單調の意味を含めば也。在るも可、無きも亦不可なく、助けにもならず、妨害にもならず、唯惰質によりて其位置を保つが如き人にとりては、十年一日の如しと言はれて、裏心却て忸怩たらざるを得ざらん。

今將に此地を去らんとする山形少將は實に十年一日の如く警務總監部の要職に當りたるの人也。唯少將の場合に於ては、此讃辭の格別に適切にして光彩あるを感ぜずんばあらず少將が文字通り十年職に在りたるは必要缺くべからざるの人なりしが故のみ、何處に求むるも少將に代はるべき人なかりしが故のみ。

少將の過去十年間に於ける功績は比較的弘く世に現はれずと雖も、我朝鮮近時の政治的內面につきて多少の知識を有する者は、今日の平和靜謐の因りて來る所の大部分を、少將の非凡なる組織的能力、深遠周到なる智慮の蓄張及び忠誠にして公平無私なる勤務に歸せざるは無からむ。併合の前後半島の安靜と擾亂とは實に秤上に振ひつゝありし也。若し些少の誤謬選算ありしならんには不祥の事忽ち湧起して、明治大皇陛下の光輝ある歴史の最終の一頁は多少汚さるゝ所ありしならん。故宅を斯の如き憾みなかりしは、聖天子の御稜威と當時の總督、政務總監及び警務總長の威力及び德望に因るは無論なれど少將が綿密にして寸隙だになき用意に據る多しと斷言するも、何人も之を以て諛辭と思はざるべし。

少將は其絶倫の精力と、測るべからざる智とを十年一日の如く、朝鮮の治安維持の爲に盡したり。苟くも朝鮮に在住して、其恩惠を受けたる者何人か少將に對して感謝を感ぜざる者やあらん。少將は十年一日の如く最も民衆の利害に關係多き位置に立ちたり。從て衆怨の府となるの危險は絶えず少將の身邊を周繞しつゝありし也。然も一人の少將に對して怨聲を放つ者無く、民衆普く其去るを惜む。其德の高き誠に欽すべき哉。今や此比倫稀なる良吏は其過去十年間に於ける努力の美はしき結果を半島の歴史には未だ曾て見たる事なき平和靜謐に見て歸らんとす。少將は託せられたる重大なる任務を遺漏なく果したり。十年住み慣れし京城の風光に對して哀惜離別の情に堪へざるものあらん。然も衷心滿足を歡喜の充つるものあるべし。今や陽春の山河には陽光遍く、鳥は歌ひ、花は笑ふ。別れを惜むと共に、欽羨の情に堪へざらんとす。



花笑ひ鳥歌ふ陽春四月費用と時間を最も巧みに節約し在滿官民の懇切なる優待と歡迎に浴しつゝ、趣味と實益兩つ乍ら兼たる觀光を爲す我社主催の南北滿洲視察團は愈來る十五日を以て京城を出發北上す會費は僅かに壹百圓『思ひ立つ日が吉日!』再び來らざる此好機を逸せず奮つて視察團に參加せよ

極東の交通機關

(二) 沿海州の氣候

本稿は露國ペ、チサビンスキー氏の著書を翻譯せるものなり、隣領方面との通商貿易益々密接ならんとする折柄絶好の參考資料たるを失はざるべし

極東に於ける交通路として指摘すべきものウスリ鐵道並に目下布設中の黑龍鐵道二者あるのみ而して黑龍鐵道の如き(目下ブラゴヴエシチンスク市迄竣工)西より東する緯度的延長の鐵道にして經度的に南より北へ走る鐵道にあらざるを以て黑龍江支流の上流に在る金鑛一帶は未だ鐵路の便に浴するを得ず元來一國の商工業は其盛衰多く水陸交通の發達と土地の地理的關係に由來するを以て余は先づ茲に極東の自然に付き其一般を語らんとす

極東一年間の雨量は歐露に比し大差なし然れども之れを極東全部の延長に割當て雨量の相違を檢することは場所に依り甚差甚しきを見る即ち沿海州の如き定期風の去來頗る密なる爲め氣候も一定せるが如し此地方に起る定期風は夏季海上より來りて氣溫を高め以て多量の水分を伴ふ然るに冬季は之れに反し遠く亞細亞大陸の酷寒の地方を通過せる乾燥したる定期風たるを以て大氣乾燥す之を要するに沿海州の夏時は雨水多く冬季は甚しく乾燥す故に極東に於ける河川の氾濫は春にあらずして霖雨期の將さに盡きんとする八月を以て甚しとす冬季は降雪甚だ少く陸路の交通極めて惡し即ち河川の氷結を待ち橇道を布き以て僅に交通を保つに過ぎず

夏季雨量の潤澤なる是又時に依り不便の尠なきにあらず即ち此の地方の雨水は多く地上に停滯して沼澤を呈し地下又粘土氷結の爲め雨水の地中に吸收せられざるあり加ふるに地層上部の凍氷雨水の爲め融解し反つて地面の泥濘を助くるの感あり通行の困難甚しと言ふべし殊に冬季降雪少く地中深く結氷し地層容易に融解せざるが爲め徒に河川の涸渇を來たすが如き甚しき不便あり東部西伯利亞は歐露に比し緯度相等しきも寒冷の度極めて強し浦鹽斯德の如き一月の氣候は同緯度のニースア市に比し二十三度スフーム市に比し二十一度を減ずハバロフスク市の如き其緯度巴里及び維也納に等しきも一月の平均溫度は二十四度ブラゴエシチンスク市は二十五度南ウスリ州は南方クリミヤと緯度相等しきも寒冷の度アハングリスク縣に同じ初秋早く既に氷結し晩春漸く解氷するが如き著しく植物界の活動期を短縮し殊に土木及び建築に及ぼす影響甚しく即ち樹木の發達を害すること尠少ならず其土木事業に至つては遲延等の不便を伴ひ來り又濃霧の屢發生するが如き河川航行業者の甚しく困却するところなり

蠡湖寄語

故人招聘の議

山縣生

支那の國會に米國の國務大臣ジョン、ヘー氏の爲めに謝恩の銅像を建立すべしとの議案が提出された。支那が獨立を維持し得たるはヘー氏が支那の門戶開放を主張したるに由り、且つヘーは米國が義和團償金を返却するに與りて力ありし故に其功を永久に傳ふべしとの趣旨である。此議案が過日參議院で討議された時に、義和團償金の返却は米國の議會が贊成し議員の一人はこれに反對して、ヘー一人の力に依るものでない。ヘーに對し謝恩の意を表せんとならば政府は須く氏を顧問として招聘すべしと論じたさうだ。誠に六かしい注文である。何となればヘーは數年前故人となつたからである。此可笑しき謬を何人も指摘しなかつたのは不思議である。

日報詩壇

○梅花書屋圖　古城　梅溪
茅屋三間傍曲溪。横斜枝壓讀書欄。疑入何幸受天寵。世外春光自在看。
評曰　借圖而寫詩人之懷、風味自別

○春日偶成　大出　水鈴
春色入山龍翠霞。輕風叩戶野人家。壺中有酒謝何處。詩得日陰六出花。
評曰　好奇之至

◉雞林同人會第九回詠草(二)　井上通泰先生點
春の月
つまなしの花のみ見いて我國の垣根はわかぬ春の夜の月　白石　資鐵
ゆきはりに葬るゝも知らで乘れる子の上に出けり春の夜の月　同
○
釣人の歸る堤の柳原ほのかにかすむ夕月のかげ　忠孝
下にふす我ありさしも知ざらん夜すがら宿る花のへの月　同

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 前金に限り前金三ヶ月分[illegible] ▲郵券代用[illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金[illegible] ▲三號活字[illegible]
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯用三二四番 營業用三二六番 振替貯金口座京城一一〇〇番

書道研究・書道研究の模範的月刊雜誌
書道及畫道
四月號出來
書道研究 鳴鶴先生 篆書手本 ... 名家書畫寫眞四十餘種を挿入す ▲本號執筆諸大家 ...
定價一冊金廿七錢 每月一回一日發行 東京神田錦町一の十六 一松堂 書道及畫道社

太陽
四月號 五十錢
政界の表裏(樞密院、將來の首相、選擧) 無名隱士
總選擧の意義
露國の大革命
平和と世界の統一
小學讀本に現れたる經濟事項
戰時並に戰後の經濟政策
代議士論
婦人界評論 心頭雜草
教員優遇令に聯關して
歐洲戰爭を中心として
試驗制度改正に就て
京阪に於る伊能忠敬
家庭悲劇の教訓
粗製濫造の非難とその救濟策
海軍の建設目標
支那の態度と聯合加入問題
利根川べりのある町
總選擧思出錄
山縣天下
春期大附錄 恐しき結婚 狐火 漁村賦 イエツタトリイチエ
博文館

毛筆 ペン 習字速成 通信教授 最新最良の習字講義錄 新學期を開始し會員を募集す 東京市牛込區早稻田大學前 東京習字學會

故尾崎紅葉原作 故サーアーロイド英譯 (春陽堂藏版)
合本 英譯金色夜叉
合本廉價新縮刷成りて以て提供す
縮刷 英譯不如歸 徳富蘆花原著 鹽谷榮英譯
大阪 誠文堂 大阪屋號

スワン萬年ペン 大阪平野町 スワン出張所

小學校を卒業して
女學校に入學出來ぬ事情のあるお方は此講義錄をお讀みなさい
實修女學講義錄
會長 從三位 下田歌子先生
講義錄 全部改版 學年短縮 入會金全免 獎學金 大特典
大日本實修女學會

○米國の交戰宣言を頌す

米大統領に送りし英皇帝の御親電

米國の對獨宣戰に對し六日英國皇帝陛下より米國大統領に宛て左の御親電を發せられたり(倫敦電報)

朕が議會に於て堂々發表せられたる米國の交戰宣言に依り朕は茲に帝國に代りて滿腔の祝意を表す此の宣言の精神的効果は物質的効果と等しく測り知る可からざるものあり世界の文明は振古未曾有の大危機に在り此の時に際し聯合國は大共和國の行へる此の態決に負ふ所極めて多かるべきは言を俟たず

○汽船撃沈と伯人の激昂

新聞紙は獨船を押收すべしと論ず

ペトロポリス來電=伯剌西爾汽船パラナ號撃沈の報道は大に同國人を激昂せしめ新聞紙中伯國は最早中立を維持する事不可能なれば政府は宜しく報復手段として在伯國獨逸船を押收すべしと論せり(倫敦電報)

○巴奈馬、本國を援助せん

巴奈馬來電=巴奈馬共和國は國家保護の爲有ゆる手段を盡して米國を援助す可く巴奈馬に於ける米國の軍事行動に對しては便宜を計る旨誓約せる宣言書に署名せり(紐育電報)

○獨逸汽船三隻捕獲

ハバナ來電=政府はハバナに抑留中の獨逸汽船三隻を捕獲し其乘員を監禁せり(紐育電報)

露國の形勢

○商工大臣の生産增加策

商工大臣テレンスキー氏はウラル山脈に於ける政府の經營に屬せる各工場製造所鑛山等の生産率增加を計るべく調査の爲め三名の委員を派遣せられ度しと下院議長に申請せり(露都電報)

○露國各州の會計整理

露國新政府會計檢査院長ゴツネフ氏が四月四日各州に於ける會計檢査局長に打電したる處に依れば從來中央政府に屬したる會計檢査局を附屬せる州の大官に直轄せしむる爲め速に會計の整理を行ふ可しと命せり(露都電報)

○露國新貨幣發行

露國新政府にては此度新貨幣を發行せり其相場は舊貨幣の九割にして近く長春哈爾賓間に流通を見る可し(長春特電)

○代議士鐵道廳を管理

露國下院議長ロジヤンコ氏はドネツキー鐵道廳の管理主腦者としてドブロオリスキー氏ツリヤコフ氏ケイウイツチ氏の三代議士を選定の上任命したり(露都電報)

○東清鐵道長官轉任說

或筋に達したる電報に依れば東清鐵道長官ホルワード氏は近く轉勤の模樣にて其後任者の選擇中なりと云ふが果して事實なるや否やは確實ならずと某露人は語れり(哈爾賓特電)

○兩皇子御入學

既報の如く淳宮殿下には九日陸軍中央幼年學校に成らせられ一戶教育總監岩崎校長以下職員に拜謁仰付けられ御入學式を行はせ給へり尚同日高松宮殿下にも學習院中等學課に御入學遊ばされたり(東京特電)

○首相の晩餐會

寺內首相は九日午後六時三十分永田町官邸に久邇、梨本兩少將宮殿下の御台臨を仰ぎ同時に陸海軍元帥、大將、各大臣、各師團長等を招待し晩餐會を開催せり首相の挨拶に對し奧元帥來賓を代表して謝辭を述べ主客一同乾盃して兩殿下の御健康を祝し八時過ぎ散會せり(東京特電)

○駐日貿易事務官

米國官設內外通商局員フランクアール、ルツター氏は東京駐在貿易事務官に任命されたり此の任命を見るに至りしは日米貿易の漸次重要となれるに依る(東京特電)

○非禁輸入品(通報)

英國の輸入禁止に關し在日本英國大使館商務官より七日附を以て經木眞田は英國輸入禁止品目中に含まれ居らずとの通報ありたり(東京特電)

○臺灣總督東上

安東臺灣總督は九日郵船備後丸にて門司通過海路東上せり(門司特電)

◎總督新義州著

長谷川總督は古海警務總長、宇佐美內務部長官等を隨へ西鮮地方巡視の途八日午後六時二十分新義州著藤川道長官以下官民學校生徒等多數の出迎を受け鐵道ホテルに入れり九日朝義州に赴き道廳警務部其他を巡視して夕刻引返したるが十日は午前中法院支廳、新義州府廳、稅關、營林廠、守備隊、地方廳に於て重なる官民を接見しホテルに歸り同午後一時三十分發列車にて平壤に向ふ筈(安東縣特電)

◎露國禁輸と特許

過般露國政府が勅令にて發布せる同國輸入奢侈品禁示令は愈去る三日より實施せられたる旨浦鹽より通報ありたり右により同地著貨物又は旅行者手荷物等にて該令に該當の物品は露國政府の輸入特許證無き限り絕對に輸入するを得ざるにより鐵道及び汽船會社等にては該輸入特許證を添付して申込むにあらざれば取扱はざる事となれり因に輸入特許證は當分の間露國領事之を發行することある可しと

◎朝鮮紡織進捗

資本金一百萬圓を以て木浦に設立せられんとする朝鮮紡織會社は內地に於ける一流の實業家たる馬越恭平、原六郎、和田豐治、大橋新太郎、服部金太郎、茂木總兵衛、山本條太郎、野田卯太郎、八[illegible]の發起に係るものにて朝鮮の有力なる貴族實業家も若干發起人に加はるものゝ如く鮮人資本家の同社持株希望者も少なからずと云へば會社設立の認可あり次第諸般の設立準備順調に進行すべき模樣なり

◎冬漁試驗調査

西海岸の鱈白鱇漁業

總督府にては大正五年度より冬季漁業探檢調査試驗を開始し同年度に於て西海岸方面の調査試驗に著手したるは當時本紙既報の如くなるが由來西海岸は殆ど二十尋以上の水深なく殊に冬季間は寒又北風荒れ且降雪多く結氷し沿海魚類の棲息及び遊泳を認めざるより此等の沿岸に居住せる漁夫は冬期の作業を得ず他に轉業若くは徒食し春季を俟つの外なき狀態なるを以て當局に在りては此の期間に於ける

▲沖合深海漁族の生棲漁場を探檢し其の分布及び棲息狀況を探檢調査して以て之等冬季休漁期間の漁業を開發し實地に就きて監督指導を與へ適切に事業の有望なるを周知せしむると共に未知の漁場を探檢して將來斯業の隆興を促さむことを期せるものにして五年度は全北沖合於青島を根據とし大正六年一月十六日より三月末日に亙りて東經百二十五度二十分、北緯三十六度二十分の地點を中心とし其の東西三十浬、南北四十浬の間に於て水理の觀測をはじめ鱈及び白鱇漁場の探檢並に

▲其の生棲狀況等を調査せり。其の結果を聞くに於青島近海は前記の理由に依り冬季に至れば殆ど魚族の回游を見ざるも鱈及び白鱇は此の間潮流を辿りて一月初旬より漸次移動しはじめ沿海に回游し來りて餌料を求め鱈は二月上旬に至れば三十尋線內外の淺海に來りて產卵し白鱇は四月初旬より下旬の間に於て水深二十尋內外の淺洲間に放卵す。而して其の去來の狀況は水溫及び氣象に關係すること至大にして平年時に在りては已に十二月初旬に於て沖合六十尋線の深海を出て

▲漸次二十尋線の淺深に來り餌し來るものゝ如く其の適游狀況は他魚の如く活潑ならず極めて遲々にして四月初旬の頭琉島、鹿島、堀島、竹島古群山島等の沿岸に回游し來り放卵後四月中旬より漸次沖合六十尋線の深海に逃避す。然れども本年は稀有の酷寒なりし爲め魚族は平年時の魚道を辿らず嚴冬季間は深海に潛伏せしものゝ如く五十尋線以上の深海にあらざれば漁獲を見ず二月下旬に於ても三十尋線を出でざりしが三月中旬氣溫順調に歸してよりは稍々淺海に回游し來り初めて平年時の稀薄回游漁場にて釣獲するを得たり

◎松平理事歸京

東拓理事松平直平子は九日午後九時三十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎京畿家屋稅徵收狀況

大正五年度第二期京畿道管內に於ける家屋稅徵收狀況を聞くに內地人員三千零五十三人稅額九千九百九十三圓收入步合六分四厘六毛朝鮮人員二萬七千三百六十二人稅額一萬五千零九圓收入步合六分五厘七毛外國人員二百九十八人稅額一萬三百六十七圓收入步合七分五厘三毛を示せりと

◎市街地稅徵收狀況

京畿道市街地稅大正五年度第二期分徵收狀況を聞くに內地人壹千四百四十二人に對して收入稅額二萬七千三百八十七圓此徵收步合五分六厘四毛朝鮮人一萬三千五百六十九人に對して一萬九千八百五十二圓の徵收稅額あり此徵收步合四分四厘四毛外國人二百十一人に對して四千零四十九圓の徵收稅額あり此徵收步合六分五厘を示せり

◎自動車檢査

京畿道警務部にては管內自家用營業用自動車二十一臺並に官廳用自動車十臺に對し四月二十三日より同二十七日に亘り檢査を施行する由

□山形將軍送別記念帖

八日夜の花月で開かれた記者團の山形少將送別會は頗る愉快な會合であつたが席上何れも記念として揮毫すべく請はれて[illegible]

○送山形將軍　金陵　大垣丈夫

公平全職事堪傳、臨城春風十一年、[illegible]

○見かへれば[illegible]山形閣下に呈す　大西[illegible]

○君を送る[illegible]　無爲居士

○[illegible]　山口皐天

○[illegible]月に醉ふ花　[illegible]村

○送山形將軍　有馬易水

南山々色[illegible]、將軍別宴[illegible]　詩泉

○十年[illegible]人去[illegible]花[illegible]　立馬悠々[illegible]、今夜送君又[illegible]

○飲まむ哉君送る青月[illegible]　[illegible]市

○春風にして[illegible]に君送る　四谷[illegible]

○君ゆきて[illegible]　晴[illegible]

○組臣人間　南京[illegible]

○情　別　太郎

○一曆[illegible]なごりとするな子規

○一滴の酒に感ある別れかな

又た山形少將惜別の句あり

[illegible]ふりかへり〱花の山　山形少將

人事消息

▲原田太郎氏(前釜山商業會議所書記長) 九日夜入京天眞樓へ

▲窪田格標氏(釜山府協議會員) 十日朝入京不知火へ投宿

▲佐々木清麿氏(同) 十日朝入京不知火へ投宿の筈

◎南言北語

米國議會も愈々對獨開戰の決議をしたからウヰルソン大統領が之れを宣布すれば最う宣戰と同樣な譯だ▲國交斷絕から開戰まで七十日間位考へぬいた丈け戰爭の要意も頗る大袈裟なものだ▲日本の樣な物に乏しい人から見ると羨望しいよりはあきれる▲第一參戰せんとする劈頭から佛國に向けて一億磅の金を送るなんて他の眞似の出來ぬ藝當だ▲其の理由が面白い米國は獨立戰爭當時佛國から財政的援助を受けて居る▲だから今度は些少ながら其の御返禮だとある▲之れこそ眞に德孤ならず必ず鄰ありだが獨逸が聞いたら無限喉から手が出したからう▲戰爭は長期に亙つて疲弊困憊するのは兵力よりも寧ろ財力である▲獨逸などが如何に詭辯を弄しても軍事費の窮乏は儆ふ事は出來ない▲墨國で又た騷動が始まつてオブレンコがカランザを捕虜にして進軍して居ると云ふ▲而も[illegible]を殘さずに相違ない▲墨が此の騷動の影には獨探が潛出居て頻りに野次つて居るとのことださらでだに喧嘩好きの連中だから堪らない大喜びでやつて居るのだろう▲之等が出て來て合衆國の肩をデカ〱やり出すと米國も手放しで置く譯には行くまい▲米國々內の方面で野次つて居る手の付けられぬ連中だ▲獨逸も最早戰爭では勝てぬと斷念して潜航艇や獨探を使つて徒な出來る限りの亂暴攪亂を始めるに相違ない▲其れ丈け獨逸が弱つて來て居る事が證明せられる

支那遍歷　中島生

岳麓に登る

十七日午前六時湘潭を發して九時頃長沙に歸る。雨蕭々として氣秋の如し。長沙には翌朝まで碇泊す。雨中なれど、折角の事故、岳麓山には登らずんばある可らずと、船長も頻りに勸められ、小生も乘氣になり、二等機關士を誘うて午後二時より山に向ひ申候。雨頻りに降る。端舟を傭うて水陸洲に上り、再び水を渡りて彼岸に上る。雨に降り罩められたる瀟江の眺めは、又一しほの風情あり轎子に乘り、心地よく搖られ乍ら、一時間にして岳麓に達す。坂路を進めば、樹林鬱蒼たる山の中腹に寺あり、萬壽寺也。老僧出で丶喜び迎へ轎夫を指揮して案內せしむ。更に石磴を踏んで上れば望湘亭あり。此處は最も眺望佳なりと聞き居れど、惜い哉、雲霧濛々に鎖して、四界空濛、瀟湘の眺めは愚か、咫尺の間にある樹影すら、只だ茫漠たり。然れども今茲に岳麓山に登りて、雨に洗はれ雲に浮められ、暫らく羽化登仙の思をなして、俗念塵想を拭ひ盡するを得たるは、復た偶然の倖にして、瀟湘望み得ざりし事、敢て遺憾とするを要せざる也。

下路は雨少しく歇み、風稍々生じて身邊の雲頻りに動く。鐘聲長閑に山中に響いて鷄聲之に和す。山を下れば愛晩亭あり。更に下り盡せば、岳麓書院也。

所謂國恥史綱

白屋棟を連ぬるもの、之れ岳麓書院なり。四大書院の一にして、宋の開寶中潭州守朱洞之を建て、咸平の初州守李允則其規模を擴大にし、中に講堂を開き、書樓を設け、先哲十師の像を塑し七十二賢を畫く。張栻朱熹に興に講學せしの所たり。今高等師範學堂となる。朱子の壁書忠孝廉節の四大字は有名也。孔子の廟あり書院の玄關最も人目を惹く所に、不圖方一間位の大衝立のあるを發見し予は渺らず面喰ひたり。此の衝立は最近國恥史綱と題して數千字を以て記述しあり。其の標題既に奇也。而して冒頭に曰く。

我國自秦漢以來屢見凌於外族海洋既通受患尤劇今擧界外交大事自清道光中葉民國四年止顏曰國恥史綱以揭之講堂俾諸生覽誦語曰國恥足以興之嗟我諸生其將何以興斯恥乎

右の前書に次いで道光二十二年より以來列國との交涉事件にして所謂國恥と見るべきものを列擧し、最後に於て誌して曰く。

民國四年日本乘歐洲戰亂攻略青島提出二十一款迫脅我政府五月九日政府不得已而許之

而して此の日支交涉事件に對して評記するところ、辭簡にして意斷し、曰く

按此約尤千古奇辱以其無因而至也

湖南の民情由來慷慨節を尙ぶ。幾多子弟を薰陶する敎師たるべき學生に對し、斯くの如く訓ふるあらば、其の波及する所如何に大なるべきぞ。日支親善なぞと只だ形式的なる辭令の交換せらるゝ間に、國恥警告は實質的に瀰漫するなきや。否や。書院の傍に屈原の祠あり。中央に三閭大夫屈子之神位を安置し、右に賈子左に司馬遷の神位を併置せり。敬禮を呈して後轎を急がせて歸路に就く

長沙より漢口

岳麓より歸船せしは午後五時、此夜三井物産の百瀨氏より晩餐會の招待に與かり。其の社宅に赴き申候。當夜は坂井領事初め支那側官憲其他日支有志數名來會せられ、支那料理に箸を交へつゝ、遲くまで歡談飽食致候。

十八日午前六時船は長沙を發し、風雨を衝いて漢口に向ひ急ぐ。雨歇み風歛まりたれど空は曇り、水寒うして夕波急なる頃、右に岳陽樓を望む。水上より岳州を眺むれば白堊長く汀に連なり、寶塔高く聳え、一幅の好畫圖を見る如し。十九日午前八時漢口に著し、我が親しむべき湘江丸に別れ上陸致候。以上十二項長江下航の船中にて記す

◎青山島近海漁況

全羅南道青山島に於ける漁獲物は夏[illegible]漁撈を行ひたるに漁獲物頗る多きを以て猶引續き漁業に從事しつゝあり[illegible]

◎京畿地方費收入

大正六年二月末現在に於ける地方費附加金[illegible]五百八十二圓に對して一萬零百八十五圓の收入あり此收入步合九分九厘

▲戶稅 三萬一千八百四十四圓の[illegible]毛

▲屠畜稅 調定稅額二萬九千九百五十二圓に對して收入步合九分九厘八毛

[illegible]賀買は例年の如く客月末を以て一段落を告げたるが客秋以來の當地買入[illegible]棉價の[illegible]は一時頗る悲境にあり[illegible]加を告げ其額百二十萬圓に達したる[illegible]如く向陞手持棉花の移出も引續き相應に行はれ居れど此方面の[illegible]移入界は春來極度の不振にありしが[illegible]

衆議院議長 島田三郎閣下題字　法學士 添田増男先生閲　定價金八十五錢 郵送料金六錢

素人にできる 氏名變更簡易手續法

戶籍の改姓改名自在

本書は姓名の意義・選氏命名及び改姓改名に關する法規を集め法律の精神を明かにし[illegible]德川を乃木に太郎を家康へ[illegible]改名し得る秘訣方法を詳述し[illegible]

發兌 東京 法研究會　發賣 誠文堂 大阪屋號

簿記募集

私立認可 日本簿記專修學校

大正六年新學期[illegible]　通學生 校外生　東京市芝區櫻川町十一番地

▲支那語の必要は英語以上なり!!

支那語自由自在講義

支那四百餘州の寶庫を開かんとするにも、四億の民をして日本品を買はしめんとするにも、支那を指導啓發して親善の實を擧げんとするにも必要缺くべからざるものは支那語なり。是れ近時支那に注目する人々が一齊に支那語研究の必要を痛切に感ずるに至つた所以である。然るに從來の支那語に關する參考書は單に支那の官話たる北京官話を說けるものゝみにて支那人の日常用ひる生きた支那語を說けるものは一もなし、本講義は茲に鑑み多年苦心研究の結果、獨創の考案に依り、現代の生きた支那語を講述し初心者にても必ず其期間に談話と文章とに熟達せしめんことを期す支那に注目する政治家、軍人、實業家、學生、其他支那に志ある者は何人も本講義に就て斯道の泰斗たる本會講師の指導を受け[illegible]

會員募集 ○入會金不要 ○每月二回配本 ○新學期[illegible] ○五ケ月卒業 ハガキで見本を請求せよ

東京小石川區久堅町 東亞學會本部 振替東京二四五九九番

學生諸君 試驗必須 組合文房具 京城本町 [illegible]

漁網。釣具一式及附屬品卸小賣 網類賃貸及修繕大勉強仕候

京城櫻井町壹丁目 網京商店 通信販賣部

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり 粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ

京城南大門通二丁目 (堀井)謄寫堂京城出張所 電話四〇二番 振替口座京城一〇五八番

株式會社 朝鮮商業銀行

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)　諸積立金二十四萬百圓　京城南大門通一丁目

一般銀行業 倉庫業

銀行長 趙鎭泰　支配人 豐田明敬

電話五五八番・六八一番 振替京城一六三四番

南大門支店 電話五四四番 一七〇二番 振替一五八二番 二二九四番　仁川支店 電話一八四九番 振替一〇六二番　平澤支店 振替一六〇六番　本町支店　東大門出張所 電話一八六三番

[illegible]…事せる通船八隻は去月二十日頃該地方に逆き堂洛里を根據地として沿海…[illegible]…の漁業に從事せるものは愛知縣…[illegible]…八隻山口縣八隻佐賀縣四隻等也と

…[illegible]…七十九圓の收入あり此收入歩合八… ▲市街地税割加金 四毛 調定額一萬零…[illegible]…の收入あり此收入歩合… ▲屠場税 調定額七萬四千三百卅…[illegible]…四割に對して七萬零五百七十六圓の收入あり此收入歩合九分四厘九

…[illegible]…の收入あり此收入歩合九分三厘九毛

◉木浦先月金融 實棉の指定 …[illegible]…れば約三萬二千…[illegible]…斤の…少を示せり然れども買收價格に於ては相場の高騰により却て三萬圓の增…[illegible]…物逸に…十圓臺に引返し實に五六萬圓の急反撥を告げしかば此機會に於て當地棉業會社は相當買…[illegible]…白米の大口引受けある等…此方面にも資金の移動相應見るべきものあり…[illegible]…如し要之當月に於ける金融は…の情勢を以て尚幾分の緊張を保ちしも大勢は漸次閑散を免れざらんか（群山支局）

露都革命實見記（一）

◇革命黨の投げ付けた爆裂彈!! ◇深夜に起る銃聲と叫喚の聲!!

露都にて 小田柳翠手記

（三月十日（土曜日））

◇三日前から手附をいれて申込むで置いた五軒の宿の中ニコライスキー驛前のズナメンスカヤ、ホテルの一室が空いたとの報知せに早速下宿屋を引揚げホテルに往く 居部は四階の三四番小綺麗な一室 日曜にはバスもある化粧室もある

◇八日から革命で騒々しい街上には警鐵の兵士やコザック騎兵の長槍が物々しく兵士は同盟罷工を勸誘しつゝある革命黨を警戒しつゝある、電車は停つた、ネヴスキーの大通りも死のやうな淋しさ!!

◇日本大使館に上田翻譯官を訪ふべくネヴスキー街をリテーネ街に急ぎつゝあると俄然一丁餘り前方の大通りに當つて轟然耳朶をつんざく大爆音が起つたつゞいてウラー!!ウラー!!の絶叫が聞ゆる。唯見ればコザック騎兵の一團に勞働黨の一人が爆彈を投げつけたのである血みどろの馬!!慘死せる兵士、鮮血はあたりの積雪を花のやうに染めた危險いから急いで宿に歸る

◇夜になつた、恐るべき革命の露都の夜となつた、四階の一室から耳をそばだてゝると彼方でも此方でも豆を炒るやうな銃聲が聞ゆる、それに時折は物凄い叫喚の聲!! 露都はあはれ革命の血に醉はれるか

* * *

（三月十一日（日曜日））

◇早朝日本大使館を訪ふ、電車が停つたので徒歩で行つたら卅分かゝつた平塚書記生などの話を聞くと露都は今憂慮すべき狀態にあるとのこと、革命は何故起つたか、そんなとは既に世間に知られて居る、しかしチョイ〱聞いた話には無理からぬ理由もある

◇第一露國の官僚派は獨逸と單獨講和を締結する爲めにいろんな芝居を打つた、その一つは西比利亞のオムスク市地方には麥粉や食糧品が腐敗する程あるのに故意に露都莫斯科に送らせぬ、これはパンの不足で單獨講和を國民に誣ひんとするのである……といふ說

◇モ一つは兵卒一日のパン三斤が二斤に減つた。職工などでストライキをやる奴は軍人に徵集して激務につかせる、怪僧ラスプーチンの暗殺者を過分な刑に處した、戰地の露軍に逆る彈丸には不發のものを逆る……罷業をは革命の起る動機の一つ、二月十四日の議會は社會黨民主黨の威嚇の爲め機關銃で防禦まれてあつた

◇大使館からの歸途ネヴスキーその他の大通りは何れも素劍の軍隊物々しく（コザック騎兵が一々通行人を誰何する、自分はヤポネッツ（日本人）で無事通過

◇自分の宿は驛前の大廣場に面し鮮銀の堤嘉三氏の宿と相對して居る。自分が四階の窓から覗いて見るとアレキサンダー三世の銅像の前にはコザックの一隊が配置されて時々彼等の銃口から白煙がパット舞ひ上る、無論革命黨を撃つて居るのだ

◇その中に街の騒ぎは愈よ猛烈な擴大されて行く、恰度自分が二度目にのぞいた時大通りの彼方には黑山のやうな群集と彌次馬が押かけて居たお見る〱兵士の一斉射撃にあつた。あはれ群衆の子を散らすが如き群集の跡には三四十名の慘死者が横つた、騒ぎは益々擴大して行く

英國汽船の爆沈

◉獨逸の敷設水雷に觸れて 孟買港外に於ける慘憺たる光景

八日孟買より門司に歸着せる商船巡羅丸所報に依れば同船は二月二日古倫坡に著せる當時同港を出帆せる英汽船が港外にて爆沈し其遭難者聚く多數短艇に分乘し蹴り來れるが孰れも寢衣姿の男女が恐怖に襲れ慘憺たる光景なりき英國官憲は之を秘密に附し居りしが各汽船は孰れも出港を見合せ海軍は直ちに掃海に着手し二十三日始めて和船皮び多數の汽船は假裝巡洋艦を先發にして出港する事を得たり、右英船の爆沈せし原因は亞剌比亞方面に在る獨逸人が戎克に乘りて現はれ水雷を敷設せしものなる由孟買にては我國より歐洲への回漕のトロール船十隻碇泊し船員の給料値上問題にて紛擾し居たり（門司特電）

七百名の群衆猛火に包まる

長崎縣下の大慘事、死傷者四百餘名

長崎縣西彼杵郡神ノ浦村在鄉軍人分會にては八日同會基金募集の爲め同村の空地に約一千名を容るべき假小屋を建て浪花節を興業中なりしが當日は恰も日曜日の事とて七百餘名の入場者あり人々歡樂に醉へる折しも午後零時四十分同小屋の左側棧敷裏の壁より出火し小屋は忽ち一面の火の海と化したるより群衆は先を爭うて逃れ出でんとし悲鳴を擧ぐる者折り重なりて負傷する者猛火の爲め燒死する者等數知れず歡樂の場内は忽ちにして阿鼻叫喚の大修羅場と變じ死傷者四百餘名（中燒死者八十名）を出し近來稀有の大慘事を演出せり原因は群集中寸燐をすりたる者の火が藁に燃え移りたるものならんと（大阪特電）

麥酒値上

麒麟加富登札幌 皆九日より實行

今年は麥酒需要繁盛期に入るに先ち値上げの實行あるべしとは一般當業者の豫期するところなりしが果然九日東京に入電ありて加富登、麒麟、大日本各麥酒會社にては

■三社協定 の上それ〲値上げを爲し京城の販賣店特約店に通報し來りたるがキリン及びカブトは一箱（四打入）金二圓にして直ちに九日より之れを實行せり。日本麥酒特約店にては商略上値上の價格を固く秘し居れるも三社協定したりとある以上顧慮其の他と甚だしき

■懸差あるべ しとは思はれざるも如らく記して後報を待つべく又サクラビール側なる帝國麥酒にても以上各社と歩調を一にこそせざれ會社經營上遠からず幾何の値上げを爲すべきは蓋し疑ひを容れざるべく恒例となり居れる京城に於ける三大會社の

■麥酒競爭 戰はサクラ麥酒の値上發表を待つて現出せらるゝに至るべきが麥酒愛飲黨にとつては一本四五錢に當る値上げは可なりの苦痛なるべし

▲當業者曰く 値上は戰亂の爲

右に就き明治屋京城支店の内田氏は曰く『今度の値上げは突然です、然しながら

◇原料の拂底 を第一としてその他の製造費一切が高くなつてゐますから値上げは已むを得ないことだらうと思ひます、日本の麥酒界では何れも販賣政策として國產獎勵の看板を掲げてゐますけれども

◇原料は多く 歐羅巴諸國から仰いでゐるものですから戰亂の影響を受けた事は少なくないのです。私の所へは今日あたり盛りに註文が來ますけれども新價で無ければ一箱でも賣らぬ事にしてゐます

◇一箱二圓で すから一打に付いて五十錢上がつたわけですこの賣價が直ぐに新値に改めるか何うかは判りません

慘殺犯人

◉イルマ 嫌疑者捕はる

福岡俘虜收容所俘虜獨逸海軍大尉ジークフリート、フォン、ザルデルン（三）の妻イルマ（三）が二月二十四日夜何者にか慘殺され夫は之を悲觀して三月一日朝自宅に於て自殺せりとのことは其當時報道せしが八日横倉警察署に於いて佐賀縣生れ神雲富彌（二）を逮捕せるが富彌はイルマ方に強盜の目的を以て押し入りイルマを慘殺せる疑あり目下嚴重取調中（大阪特電）

馬賊逆襲して敗走す

間島奥地なる敦安縣下露領接續地一帶に跋扈し居たる匪徒の頭目王林玻る其餘黨は過般軍隊の追撃に遇ひ露領に逃去せしとの報ありしが又々復讎の爲め三月末日同縣下九站三叉溝大甸子方面へ逆襲し來りたるも逸早く官兵の探知する所となり兩々相對し午後二時より五時に亙る三時間に亙り大激戰開始せられ官兵の總勢五十餘名匪徒の人員は是よりも多かりしも遂に賊徒は散々に打破られ死傷者數名を遺棄して敗走し官兵は銃二挺彈丸其他背囊二十九個其他の物品等多數の獲物ありて幸に一名の死傷者も無く勝利を得たるも又何時彼等の來襲あるやも計られず目下警備嚴重なりとのことなり（間島）

一夜に三箇所から強奪

平南平原郡將鰐雲面霞岩里金應奎方同居吳官五（云）は三月十六日夜肅川面德水里金龍三方に侵入し鎌、鮮刀を示して脅迫し龍三夫婦龍華（云）を縛しめたる上現金五圓外數點を強奪して逃亡し引續き同夜附近の金吉化、金德淳の二家をも襲ひて同樣強盜を働き巧に山中に潛伏中を此程肅川憲兵分遣所に逮捕され取調べの結果三月中に衙部成甲、金昌杰、鄭在心方の三戶にても同樣強盜を働きゐたる旨自白し身柄は檢事局へ送られたり

◇紅梅に名殘を惜しみつゝ

住み馴れた京城を去る山形少將一家

前警務總監部の高等警察課長山形少將の一家はいよ〱十二日午前八時半南大門發東上のことゝなつた。倭城台の白い塗壁の官舍には今し來客の伸が忙がし相でどの間にもどの室にも荷造みの貨物が置き並ねられてある

◆お庭には黑い紅梅の老樹が傍の苗をふくらませつゝつきぬ名殘りを惜みつゝある。夫人は庭の白梅を指して『此の樹を九年前に植ゑました時はまだホンの一尺ばかりの僂さい苗木でございましたのに……それがあんなに高くのびました……主人の京城に參りましたのは明治四十年、私共の參りましたのはその翌年の初秋の頃でございました。子供なども皆なこちらで育ちましたやうなもので昨年安達大尉の許に嫁ぎました姉娘は只今主人が所澤の航空隊附となつて居ります京城の九年間は別に變つた事もありません……

◆嗟だ併合當時は夜の二時過ぎまでのお客樣で何の間もどの間も一杯のお人でございました……』因に東京お邸は佐々木北山谷一七五。寫眞の向つて右は少將夫人、その次ぎは日出六年生の千秋さん（二）次ぎは關一さん（七）お孃さんは今年京城高等女學校の補習科を卒業の雅枝さん（九）

◉猛獸に咬殺さる 平北寧邊郡鳳山面陽池洞金錫根長男泰錫（七）は三月二十九日午前六時頃裸體の儘居宅前にて放尿中を猛獸に襲はれ約十町前の山林中に於て腹部を咬まれて絶命し居るを發見したるが多分豹ならんと目下驅除中

◉釜山の釋尊降誕會 釜山佛教各宗聯合の下に…[illegible]…八日午後一時より…[illegible]…七時より說教並びに種々餘興ありて近年稀なる盛況なりし（釜山）

◉南鮮天然痘突發 内地に於ては昨年末以來今春に亙り天然痘流行し又鴨綠江對岸地方にも目下天然痘の流行するあり朝鮮内地は幸にして之れが流行を見ざりしが去月中南鮮地方に突然該病發生し慶尚南道五人同北道六人全羅北道一人全南道五人合計十七人に達せりと

◉中川原氏の葬儀 第一銀行員中川原精一郎氏は過般來病氣中の處九日午前十一時終に逝去せり葬儀は十日午後四時大和町曹谿寺に於て佛葬執行の由

◉妙心寺の接心 京城長沙洞妙心寺に於ける三月の接心は僧堂老師が病氣の爲め延期中の處病氣全快したるを以て來る十一日より十五日迄毎夜午後七時より三時間宛行ふ由

えんげい

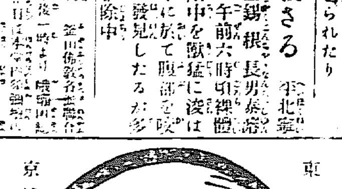
◉泉祐三郎 今様能樂の家元として一派を爲し居れる泉祐三郎一座は先年當地に來りて好評を博し李王職、鐵道局等にては特に一座を招切りて見物したる事ありし程なりしが昨今流行の沸騰點に達し居れる御ある京城諸界の望みにより今回同人妻女及び娘等を引連れ再び來京十六日より壽座に開演する由なるが當地にては謠曲流行に續いて仕舞流行の兆ある際とて必らず盛況を極むべし

◉奈良女來る 東京に於て女浪花節の重鎭として人氣を集め居れる吉田奈良女は大阪親友派評議員の廣澤虎春と共に來京十日夜より明治町浪花館に開演する由その語り物左の如し
大和御所（奈良一）△め組の喧嘩（三笑）△賀永勇士揃へ（奈良長）△樋大尉（虎り）△宮澤廣忠錄（虎春）△義士傳、堀川和生記（奈良女）

◉藝妓芝居 新柳券番創立一週年紀念といふ同券の藝妓芝居はいよ〱十三、十四、十五の三日間壽座に開演する事となりたるがその狂言は左の如し
式三番叟△阿波鳴門どんどろ大師△鏡山吉鄕錦花見の場△忠臣藏奥庭△中將姫△傾城曾我△神靈矢口渡△扇屋熊谷

◉壽座 喜劇曾我廼家蝶五郎一行は愈々十日にて千秋樂となるべく當日は三十錢均一としその狂言は無頼、喜劇命の安賣、親の罪、御免やすなり

廣告



▲山縣五十等 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城日報社代理部

質 大口歡迎 京城黄金町長橋町 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

京日案内 普通一回五十錢 番外一回增金 ▲申込後中止若しくは變更の節は返金せず ▲六號以上の御申込は特に定料 ▲御照會の節は返信料添付の事 ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

◉賣地 南大門通二瀧湖叢 工銀行際三十坪餘 京城電話一〇一五番 喜多金光堂 906

店員入用 十六歲より二十歲まで 新龍山電車終點前 鶴谷雜貨店 935

◉看護婦二名至急入用 履歷書携帶來談あれ 仁川 小倉病院 941

市內相當の位置にて事務所向家屋借りたし 御所持の方は電話一八五番へ御報乞ふ

◉貸屋 會社商店事務所向間口四間奧行三間二階付十五圓 南大門側日出所附近 御用の方は電話一八八へ 937

店員入用 十七八より廿歲迄の者至急雇入る希望者は來談あれ 龍山漢江通 電話四五五 龍山堂書店 938

番外 各學校用古教科書と參考書特に高價買入 電二五二七 本町 ウツボヤ書店 602

移轉 ▲山田流琴曲教授 園田松葉 京城本町一丁目 779

婦人灸點家 桑田アサ子 十二日より當分の内 京城黄金町 東拓前 黄金湯に於て致します 940

拾名種 拓植 五千本 本桐 五千本 ... 田本拾賣 ... 936

◉ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應す 明治町 柔術道場 746

ゴム履 多利 小資は三倍以上五倍 當店特色は薄利多賣 定價表無料送 京城太平通二 電話二六〇六番 太陽ゴム商會 766

京城春川間毎日午前八時卅分出發 京城南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 775

恩給 年金 低利 即時金額取引並金錢融通 最長期 前引なし 京城永樂町一丁目 商品陳列館前下角 江州屋 本店 781

自動車學校

本校は東洋唯一の認可學校にして手長修理製作技師養成をも兼ね三科共年齡不問採用 本年卒業者は内外共益々多く成功の近途也 東京市京橋區南紺屋町

○飲み過ぎ○食過ぎ○消化不良○りうゐん○胸の痞へ○胸の痛み○慢性胃弱諸症に妙です
◉各藥店にあり
本舖 大阪江戸堀 猪飼史郎藥房

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 電話 一八番 二六〇〇番
酒井婦人病院 入院隨意 院長 酒井一郎

[illegible]

○零歳より無診査にて入れる事の出來る坊樣嬢樣方のお目出度い保險、保險料は半年度壹圓參拾七錢より
日本徵兵保險株式會社 本社 東京市日本橋區元大工町十番地 社長 門野幾之進
正木喜三郎商店 龍山元町三丁目 電話六五番

京龍代理店
○本社は株式會社にして相互組織を兼ねたる最も誇る可き會社にして契約者へは參年後年々利益配當を致しますから會社の好況に連れて契約者は意外の利益を得られます
有給社員招聘 意志堅固にして相當の學力を有し交際廣き人但市内に確實なる保證人二名を要す 希望者は履歷書携帶至急左の處へ御來談あれ 南山町三丁目有隣館にて 島田

醫長無双清酒

無害衛生 品質無双
醸造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百三十一

根くらべ「廿六」の一

寺の庫裏は森閑として暗い。障子一重の外は、苔に蒸したる卵塔場で、覆上ぐるやうな杉や松の老樹が、物凄きまでに茂つて居た。折々本堂の方から聞ゆる讀經の聲、鐃鈸の響きが只さへも滅入りがちな氣分を、いやが上にも滅入らせる外はなかつた。必ずしも監禁と云ふ譯ではないが、我が哀れなる絹代は、植木屋の八太郎に連れられて、此の坂下の淨玄寺へ預けられてから、今日でもう五六日を過ぎたのである。是までは勿論宗教心など云ふものは、薬ほどもなかつた絹代も、寺へ來てから以來不思議に御佛の他力が慕はしいやうな心持を起した。それは、變死した父の事やら、自分の身が薄命に薄命のつゞくばかりで、何時浮ぶ瀬の見當さへも付かぬのを果敢なみ嘆くした結果に違ひないのであるが、第一は、寺の空氣そのものが、自然に彼女の心を御佛の大慈悲光に引付けて呉れたのである。

『尼になりたい。寧その事尼になつて、阿父さまの菩提を弔つた方が、後世の安樂が得られるかも知れない』思ひ切つて此の寺の御老僧にお願ひ爲て見やう。』

絹代は、譯もなくこんな考へを抱いて、朝に夕に卵塔場の邊りを眺め暮した。時には又、倉樣の阿兄さんに添はれない位なら、尼なんかなるよりも、寧そ死んで了つた方が好いかも知れないとも思つた。

つい此の間、此の寺へ來た時には境內にある櫻の蕾がまだ花らしい色さへ帶びて居なかつたが、めき〳〵と氣候が暖かに成り出したと思ふ間に、もう明日にも咲きさうになつて來たのである。絹代は、縁端から伸び上つて、櫻の梢を見やつた。

『世の中には春が來たんだね。櫻も彼の通り咲きさうになつて居るのに妾にばかりは、何故春が來て呉れないんだらう。』

絹代は、しみ〳〵と我身が悲しくなつて、兩の眼から我知らず、はら〳〵と玉の涙を濺した。深山の卵塔や石塔の石が立ち並んだ背後の薄暗い竹籔の奧から、ホーホケキヨと鳴く鶯の優しい聲が聞えた。

『まア、鶯の音が……妾を可哀さうだと思つて、慰めに來て呉れたのかも知れないわね。』

絹代は、悲しい中にも、何とは知らず小供らしい恍惚とした氣分になつて、少時は小首を傾げた儘、鶯の聲に聞き惚れて居るのであつた。小雨が蕭やかに降り出して來た。卵塔や墓石の上が見る間に濡れた。絹代の袖も亦復び涙に濕つた。

便りない日が便りなく暮れかゝつた。寺にも今は電燈と云ふ文明の光りが通つて居るのである。陰氣臭い駄々寂しい古びきつた庫裏の夜は、反つて晝間よりも明るく輝つた。

眉の毛の眞白な、見るからに柔和らしい住職の老僧に案內せられて、突然此處へ姿を現はしたのは、花泉直則男爵であつた。男爵の漆を欺くやうな鬪羽髯の和服姿と、鈍色の法衣を纏つた老僧の超絶した容姿とは何とも云へぬ奇な對照であつた。

『閣下の御依頼とあつて、植木屋が同道して參つた娘御は、是に居りまするで、何卒御充分にお話下さりませ。』

『甚だ無躾なお願ひで御厄介を掛けましたな。實は少し〳〵屋敷に置きかねる事情が御座いましたので、御迷惑とは知りつゝ、つい御懇意に甘へまして。第三での。それに彼の當家にでも直參上致して、委しいお願ひを致すべきでありましたが、御承知の通り、寸暇もない身體で御座いますので……あツ、は、は、は。いや絹代、お前とは去年以來ぢやが、能うそれでも無事で居つて呉れたぢや。只かに聞けば乃公の屋敷を出てからも、お前、なか〳〵の難儀を爲よつたさうぢやが、それでもの、命さへあれば、又斯うして顏を合はすべき運命が廻はつて來るもんぢやての。時に御住職、乃公は少しく此の女に內談せにやならん事も御座りますぢやから、此處にお關ひなく、彼方へお出で下さい。』

『左樣で御座りまするか。では御用談が濟みましたら、久々で一局何時ぞやの仇討が致したいもので御座りまするの。』

『は、は、は、乃公もその後は頓と盤に向つた事が御座りませんぢやが、御住職は、餘程御上達のやうに聞き及んで居りまするぢやよ。』

『以ての外で御座ります。それでは暫時御遠慮を申上げまするに依つての。』

老僧は、珠數を爪繰ながら、書院の方へ立ち去つたのである。

『は、は、は。絹代、お前相變はらず身體の調子がわるいげに聞いとつたが、それでも案外顏色が好うなつたやうぢやの。』

男爵は、徐ろに縁の上の小膝を乗出しながら、我が娘にでも對するやうな口氣で言はれた。

『……御前樣にもお變り遊ばす事が御座いませんで、お喜びを申上げます。』

絹代は、聲を顫はせながら、身を二尺餘りも謙遜つて、兩手を支た。

『は、はあ、お前、乃公が爲めに喜んで呉れるかの。そりや何よりも嬉しう思ふぢや。ま、その樣に遠慮せんとも此方へ進むが宜いぢやよ。』

『……はい、お屋敷を逃げ出しました罪もお咎め下さらずに、左樣に仰せ下さいまするど、妾はもう此の儘穴へでも入らねばなりません。』と、絹代は、おづ〳〵。

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振替京二三六七番

皮膚科　皮膚病　黴毒　淋病　膀胱　生殖器　機能障碍
入院隨意(診察夜九時迄)　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(三元町)　佐藤醫院　(電話一一七三番)

□大田湖南陰社例會句集　第廿八回＝四月七日風於骨庵

木の實植う

木の實植て芽誘ふ宵の雨となり　十亭
社殿荒れた木の實植ゑて人出たり　十甫
植ゑ殖ふ木の實卯や宵の雨　桃雨
病後土に親ふ足や木の實植ゆ　碧東
剝蒜地開く新居館地に木の實植ゑ　待宵
木の實植て試作の樹の太き哉　松年
木の實植て二度の地震の揺り直し　鳳骨

暖

手拵ふ片鼠脱ぐや暖き　桃雨
酒器晒す鴉馴れ〳〵て暖き　松年
暖や木曾は木流す山晴れて　十亭
暖や女一人の家明かき　春三女
黒猫の瞳に映る暖き　待宵
暖や亂心の父の髯を剃る　十甫
暖や遷座の宮の能神樂　花曉
俳諧の大巻に馴れて暖き　鳳骨

百千鳥

千の數の透せて酒家あり百千鳥　十甫
百千鳥陣所の松の疎らなる　待宵
百千鳥松笠煙すに山雨あり　十亭
百戸の村一戸殖るや百千鳥　春三女
保安林の立枯松や百千鳥　松年
鹿放つ禁伐林や百千鳥　桃雨
耕馬繋ぐ樹下の流や百千鳥　花曉
淨境の花折らしめす百千鳥　鳳骨

新刊紹介

▲南米ボイリビヤ事情　農商務省より派遣せる海外實業練習生松木錠一氏の同國一般の事情を調査したるもの也(價不詳農商務省商工局)

▲青年雄辯(學校選擇號)　官私立各大學專門學校案內並に批評なる題下の早大以下十五校の解剖は中學校卒業者向上の指針盤好個の作たる可く其他各欄如例(特價三十三錢東京市牛込區矢來町一其社)

▲新演藝(四月號)　漸く芝居月に入れる東都の演藝會は可なりの賑ひを呈したり此の意味に於いて首俳優先づ大いに奮ひ隨つて記事欄も興味たるもの多し表紙の美しき寫眞の鮮明なる相變らず綺麗な雜誌なり(三十八錢東京芝公園玄文社)

▲淑女畫報(三都風俗號)　畫報も讀物も花柳界の賑かき今後の三都名所めぐり、三都の結婚式と花嫁姿は畫報中の呼び物なるべく諸名家の三都婦人を謙稱より觀察せる各種の讀物は何人にも興味多きこと疑はず三都を通じて我國の代表的風俗を一卷に收めたる擬描し(本號に限り定價五十錢博文館發行)

▲禁酒(長尾半平著)　學理、實際兩面より飲酒の害を徹底的に力說せるもの今次の大戰が民族衞生其他社會各方面に亘つて禁酒の必要を實證せる秋に當つて特に本書を歡迎す(二十五錢東京市麴町區三の四子未出版社)

▲少年寶典　小學校程度の普通課目及社會上の智識に就て平易簡潔に要點骨子を會得し得る樣編纂せるもの便利なる小冊子と謂ふべし(十五錢東京市牛込區坂下町四八大日本雄辯會)

⊕英語を學ばんとする人の福音　現今第一流の英語大家を講師として最新英語講義錄を發行しつゝある大日本國民英語學會は目下第二十三回の新學期を開始して會員を募集しつゝあり近時英語の必要愈々迫れる折柄かく理想的の通信教授法が出來たるは何よりの事と云ふべし又此の際の入會者に限り獎勵學資金提供の規定を設けたり(會費一箇月二十五錢六箇月分前納東京市麴町區富士見町大日本國民英語學會發行)

⊕東京三金靴店の特賣　今回東京芝區愛宕下町三金商會靴店にては戰亂の影響にて各店の値上實行にも不拘同店は豐富なる材料の持合せと薄利多賣主義にて値上せず爲に各地より多數の注文を受け日々多忙を極めつゝあり附に希望者はハガキにて申込めば革見本附最新目錄を進呈する由

東京大阪の御婦人間に一番評判の好いクラブ白粉は……

日本の美人系として名高いのは、御承知の通り京都、名古屋、新潟等の各地方ですが、此等美人國の御婦人間にも頗る御參考になる問題と思ひますから、右各地方に於ける最近の新聞紙上に現れた記事を左に御紹介致しませう。

美人の産地たる京都―名古屋―新潟に於ても斯の如き好評を博しつゝあり

■京都日出新聞(一月十一日)　クラブ本舗は創業以來至誠と着實を旨として其の廣告の如きも毫も輕浮の臭を留めず、超然として異彩を放ちつゝある次第なるが、昨年二月頃一般化粧品の殆んど全部が値上を敢行せる際の如きも同本店にては値上の實行を忍ぶこと十ヶ月の永きに亘り、義獎十五日初めて輕微なる値上を發表するや、之に先だつこと數日前に於て之を一般需用者に豫告し、其の贊成快諾を求むる等、只管顧客大事と眞面目に經營するより、クラブ化粧品に對する同情益々厚く、殊に「生地まで白くなる」クラブ白粉の如きは、近來各地共非常なる好賣行を呈しつゝありと。云々

■名古屋新聞(一月廿九日)　「至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり」とは古いふ先聖の格言にて能く事實に現はれたるはクラブ本舖の遣り方にて、一大異彩を放ち、眞面目に經營するより、同情益々厚く、近來素晴らしき賣行を呈しつゝありと云ふ。云々

■名古屋毎日新聞(二月一日)　クラブ化粧品に對する同情益々厚く、値上後に於ても却て需用の急激なる增加を見るに至り、殊に「生地まで白くなる」クラブ白粉の如きは天下一品と激賞せられ、近來各地共素晴らしい賣行を呈しつゝあるさうな。

■新潟新聞(二月一日)　十ヶ月の永きに亘りて値上の實行を忍べるクラブ本店の赤誠は能く需用者に徹底し、クラブ化粧品に對する同情益々厚く、値上後に於て却て需用の急激なる增加を見るに至り、殊に「生地まで白くなる」クラブ白粉の如きは、近來各地共素晴らしき賣行を呈しつゝありといふ。云々

是を以てクラブの信用の如何に厚きかを知ることが出來るではありませんか。

クラブ化粧品　最近十五箇月間の光榮(第十五)　御用命

宮內省　皇后宮職　東宮職　伏見宮家
北白川宮家　朝香宮家　華頂宮家　梨本宮家
閑院宮家　東伏見宮家　伏見若宮家　竹田宮家

數ある化粧品の中で品質が優れて良いのと經營が極めて眞面目な爲に、最も信用の厚いクラブ化粧品は、先年來引續き宮內省、皇后宮職、東宮職、各宮家を始め奉り、高貴の御方々から優渥な御用命を忝うして居りますが、最近十五ヶ月間に於て、更に左の如き光榮を拜しました。

○十一月四日●　伏見宮家より、效力五倍以上の「クラブ白粉」、生地まで白くなる「クラブ洗粉」、髮の艶を增し毛を素直にする「クラブ香油」を始め、クラブ化粧品壯餘種に對して御用命仰付けられ、更に十二月十二日(五年)には日本名物「クラブ洗粉」に對して有難き恩命を賜はりました。

○十一月十五日●　北白川宮家より、平素特に御愛用の賞越を以て、有効第一の含嗽用口中清凉劑「クラブ水歯磨」の御用命を拜しました。

○一月十一日(五年)　宮內省よりは徐てクラブ各種化粧品御用命の光榮を忝うして居りますが、同日を以て又々日本名物「クラブ洗粉」に對し有難き御沙汰を賜はりました。

○二月三日●　長き邇り御料の御化粧品用として皇后宮職より、舶來品以上の美髮用煉香油「クラブポマード」と、一番よくきくアレ止め兼用の美身劑「クラブ美身クリーム」御用命の恩旨を賜はりました。尚ほ皇后宮職よりは大正三年十月十一日以來、「クラブ白粉」を始めクラブ各種化粧品御用命の光榮を拜して居ります。

○三月四日●　朝香宮家より、效力五倍以上の「クラブ歯磨」と皮膚の美を益す「クラブ美身ゼリー」とを、又た五月六日には「クラブ美身ゼリー」と美髮用ふけとり香水「クラブキニーネ香水」を、七月廿九日には「クラブ歯磨」と「クラブ洗粉」、十月廿三日には「クラブ歯磨」、「クラブ美身ゼリー」、更に本年一月十四日には「クラブ歯磨」を、何れも御召しの光榮に預りました。

○二月廿三日及び本年一月十四日●　竹田宮家より、舶來石鹸以上の「クラブ洗粉」に對する恩命を拜しました。尚ほ同宮家に於かせられては、右の外一番よくきくアレ止兼用の美身劑「クラブ美身クリーム」、皮膚の美を養ふ濃厚美身液「クラブ美身ゼリー」、皮膚を純潔にする透明美身液「クラブ化粧水」、舶來品以上の美髮用煉香油「クラブポマード」、一番高尚で美しい艶の出る「クラブ白粉」を始め、クラブ各種化粧品に對しても、絶えず多大の御用命を賜はつて居ります。

○六月九日●　澄宮殿下御用として「クラブタルカン」及び「クラブ天瓜粉」御買上の光榮を賜りました。

○七月廿九日及び本年一月十四日、二月二日、二月十六日●　華頂宮家より、日本名物「クラブ洗粉」御用命の御沙汰を拜しました。

○七月卅日●　梨本宮家より、美髮用ふけとり香水「クラブキニーネ香水」、汗押へとして一番有効な「クラブ天瓜粉」、效力五倍以上の「クラブ歯磨」、舶來石鹸以上の「クラブ洗粉」を、又た九月廿二日には「クラブキニーネ香水」、「クラブ洗粉」、「クラブ歯磨」、「クラブ煉歯磨」等の御用命を忝うしました。

○十月廿三日●　閑院宮家より、一番高尚で美しい艶の出る「クラブ白粉」、石鹸よりも牛乳よりも遙に有効な「クラブ洗粉」、效力五倍以上の「クラブ歯磨」を始め、クラブ化粧品壯餘種に對し御用命仰付けられました。

○十一月三日●　東宮職より、效力五倍以上の「クラブ歯磨」並に其の特別容器を謹製し納すべき旨の有難き御沙汰を賜はり、爾來引續き御用命の優旨を拜して居ります。

○十二月十一日及び本年二月廿六日●　東伏見宮家より、美髮用ふけとり香水「クラブキニーネ香水」の御用命を拜しました。

○十二月十二日●　伏見若宮家より、日本名物「クラブ洗粉」の御用命を賜はりました。

以上は本店直接の御用命で、各販賣店から御納め申上げて居るのは非常に多く、一々筆に舉げ切れませんから略して置きます。

最新刊　書名　著者　定價
大字典　上田萬年外四名　持五、五〇
增補訂正漢和大辭林　芳賀矢一外　持一、三〇
最近の南支　坪內善次郎　一、四〇
新編肥料學全書　吉村清尚　三、〇〇
一家經濟生活法　加藤美侖　一、二〇
所有土地登記　松本恒吉　一、〇〇
海軍叢書第一編 潛水艇と潛水戰　伊藤正德　一、八〇
修養第一義　加藤玄智　一、二〇
蘇詩選詳解附源註解　一、一〇
正しき證書の書き方　九〇
講話一晃　朝鮮總督府　四〇
田尻博士講演集　江森泰吉　九〇
安全生活　橋本弘　八〇
古人に學べ　笹川臨風　一、四〇
禪のはらわた　荒木時保　八〇
漱石聲句集　重田辰三　八〇
哲入商山樗牛　西宮藤朝　一、〇〇
お八重　中川花袋　四〇
論語括小舟　黑岩涙香　一、四〇
大阪屋號書店　京城本町一丁目

りん病　ばい毒
本劑は殺菌力強大にして些の副作用なく其の作用迅速に治療の目的を達す
一週分　梅毒　普通金壹圓二十錢　特製金貳圓　淋病　普通金壹圓　特製金壹圓五十錢
京城水標町二丁目交番北　京城ドラッグ商會本部

金泉醴泉間自動車時間　金泉館自動車支部

大邱浦項間自動車　大塚農場自動車所　大邱出張部

日本郵船仁川出帆
大連、太沽(天津)、牛莊行　相模丸　四月十一日正午出帆　三河丸　四月廿二日正午出帆　高砂丸　四月　日正午出帆
仁川港町　郵船回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行　大有丸　四月十四日後四時出帆　秀吉丸　四月八日後四時出帆　君代丸　四月十七日後四時出帆　神代丸　四月十五日後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行　伏見丸　四月六日午後入港　四月八日正午出帆
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目(電話一七三番)　野口商會
仁川代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船出帆
江原丸　京畿丸　黃海丸　成鏡丸　門司より釜山各港寄港　四月廿三日　四月十五日　四月十九日　四月廿九日　釜山發
○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　元山より各港經由雄基行　四月十四日　四月十日　四月廿三日　元山發
○昌平丸　咸鏡南道長箭行　四月　日　元山發
○盈德丸　甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行　四月十六日　釜山發
○江陵丸　○襄陽丸　長生浦方魚津寄港　每日　浦項・釜山發
○三浦丸　長承浦、蛇梁、巨文島、濟州島各寄港　四月十二日　釜山發
○海州丸　○新昌丸　○巨濟丸　○慶寶丸　毎日　釜山發
○平壤丸　城津、淸津、雄基行　四月十二日　元山發
○順天丸　各港經由麗水行　三日目毎ニ　木浦發
○慶興丸　各港經由濟州島行西廻　四月十七日　木浦發
○慶興丸　南多島海列島行月三回　四月十三日　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行東廻　四月十五日　木浦發
○江原丸　芝罘、大連、青島行　四月　日　仁川發
○麗水丸　○晉州丸　各港經由木浦行　四月十二日　四月十八日　仁川發
○宗信丸　海州他各港經由鎭南浦行　四月十六日　仁川發
○全南丸　○陽丸　江華島、喬桐島、海州行　毎日午前　仁川發
京城南大門驛前取扱店　松原運送店(電話長一七〇番)

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　○和歌浦丸　四月十五日後五時出帆　○立神丸　四月廿六日後五時出帆
元山、淸津、浦鹽行　和歌浦丸　四月廿五日後十時出帆
第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　四月　日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行　汕頭丸　四月十五日　信濃川丸　四月廿五日後五時出帆　天智丸　四月廿二日
◎群山、關門、神戸、大阪行　信乃川丸　四月十一日後五時出帆
○木浦、釜山、關門、長崎行　安東丸　四月十四日　安東丸　五月二日後二時出帆
○群山、釜山、福岡行　編州丸　四月十五日　潮州丸　四月九日後二時出帆
○鎭南浦、大連行　安東丸　四月九日　安東丸　四月廿七日後二時出帆
○大連直航　駿州丸　四月十日　遼州丸　四月廿六日正午出帆
◎西湖津、新浦、城津、淸津行(元山出帆)　宮島丸　四月廿九日後十二時出
◎淸津行(元山出帆)　宮島丸　四月十一日午前十二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)　香港丸　四月十五日前六時出帆　北羽丸　四月十五日後四時出帆
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番

商況
大阪三品相場
七月限　一八四、四〇　一八四、七〇
八月限　一八四、二〇　一八四、二〇
九月限　一八四、五〇　一八四、四〇
大阪米
四月限　二萬四千九百五十石
五月限　一萬千七百石
六月限　一萬六千八百五十石
▲依然強硬　▲日の商內　▲正米の近況　▲現物界